

2026年3月期 第2四半期 決算報告

2025.11.14

第一生命ホールディングス株式会社

• 本日のポイント	4
• グループ各社の業績概要	17
DL	18
DFL	23
NFL	24
PLC	25
TAL	26
DLVN	27
• グループEV	30
• 参考データ	32
DL資産運用	34

為替レート

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2025/9末	148.88円	174.47円	97.89円
2025/6末	144.81円	169.66円	94.50円
2025/3末	149.52円	162.08円	93.97円
2024/12末	158.18円	164.92円	98.50円
2024/9末	142.73円	159.43円	98.73円
2024/6末	161.07円	172.33円	107.00円
2024/3末	151.41円	163.24円	98.61円

グループ会社一覧・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイペット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Daiichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	47.4%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月

非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)				
AMO	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
AMO(US)	アセットマネジメントOne(USA)	[米国] Asset Management One USA	49%(議決権) 30%(経済持分)	1-12月
VTX	バーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	4-3月
CP	キャニオン・パートナーズ	[米国] CP New Co	19.9%	1-12月
BO	ベネフィット・ワン		100%	4-3月
	キャプラ・インベストメント	[英国] Capula Investment Management	15%	1-12月
	And Do ホールディングス		15.7%	7-6月
DMRE	第一ライフ丸紅リアルエステート		50%	4-3月
その他				
DLRB	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	1-12月

計画を上回る利益進捗を踏まえ、通期予想を上方修正

グループ修正利益
(2026年3月期2Q累計)

2,311 億円

グループ修正利益の期初予想4,100億円に対し、2,311億円(進捗率56%)となり、計画を上回る進捗

修正ROE
(年換算)

約11.3%

順調な利益積み上げにより、安定して10%を超える水準に

グループ修正利益
通期予想の上方修正

4,700 億円

順調な利益進捗や、DLの株式売却見直し修正等を踏まえて、今期のグループ修正利益の通期予想を上方修正(従来予想4,100億円)

株主還元
(1株当たり配当金予想)

51 円

グループ修正利益の通期予想の上方修正により、配当予想を増額(従来予想比: +3円、中間配当24円・期末配当27円)

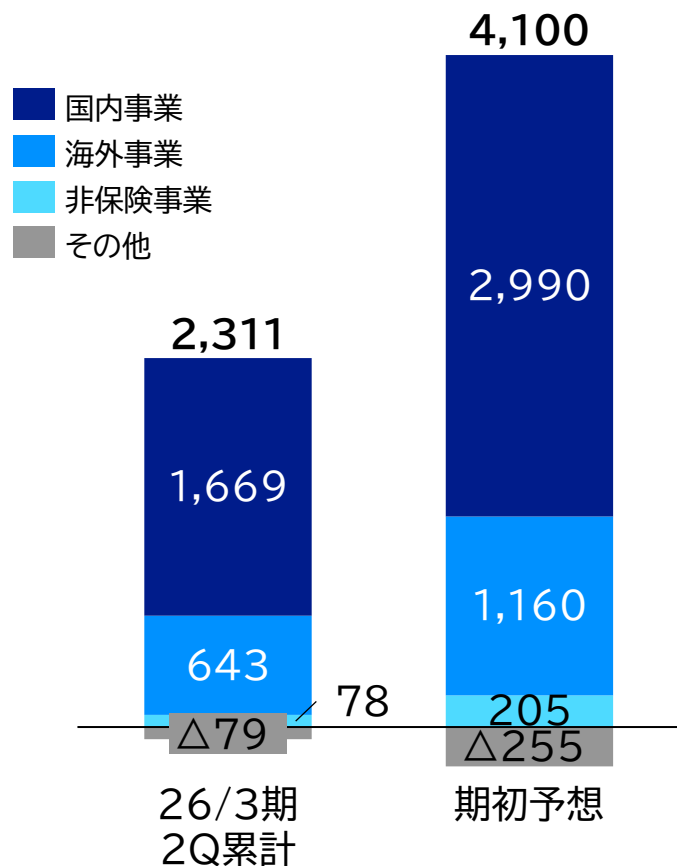


- ▶ 国内株式相場の上昇による株式リスクの増加を受け、当期の株式売却見直しを増額
- ▶ PLCが米国でアセットプロテクションビジネスを営むPortfolio社を買収(次期中計以降、中長期的に50~100百万米ドル程度の利益を見込む)

市場環境の追い風を受け国内事業・海外事業ともに堅調 一部ノイズはあるもグループ全体で期初予想を上回って推移

グループ修正利益 期初予想対比

(億円)



グループ修正利益進捗率 (期初予想対比)

56%

進捗率
(期初予想対比)

国内事業

- (DL) 有価証券売却益の上振れ(主に国内株式売却前倒し)により期初予想を超過
- (DFL) 新契約に占める非出再商品の販売増による費用増が想定を上回り、期初予想未達

56%

海外事業

- (PLC) 事業費削減によるコスト下振れや傘下代理店の売却益等が貢献し、期初予想を超過
- (TAL) 支払増を出再関連一時益が相殺し期初予想並み

55%

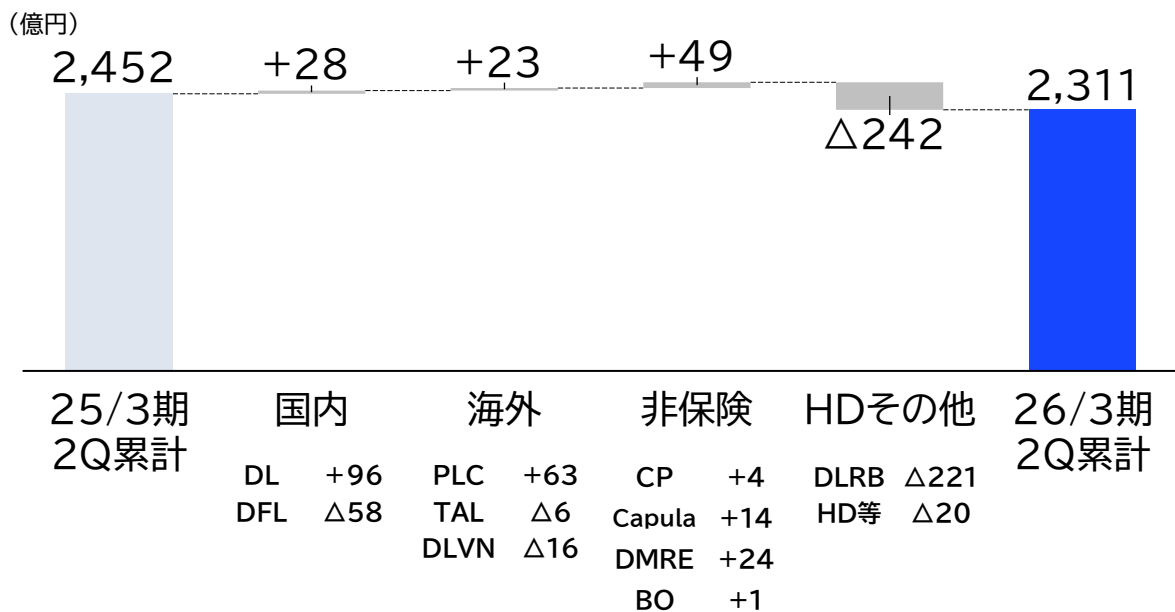
非保険事業

- アセットマネジメント事業は、AMOや不動産AM等が好調な市況に支えられ、順調に推移した一方で、CPにおけるパフォーマンスフィーの不調等で期初予想未達
- BOは経費抑制が利益を押し上げ、期初予想を超過

38%

各事業ともに前年同期を上回る堅調な進捗 一部ノイズはあるもグループ修正利益は高水準

グループ修正利益・前年同期比増減



26/3期 2Q累計	1,669	643	78	Δ79	2,311
25/3期 2Q累計	1,642	619	25	163	2,452

国内事業

- (DL) 保険関係損益の減少を有価証券売却損益の改善や順ざやの増加で相殺し増益
- (DFL) 新契約コストの増加(非出再商品の販売増)で減益

海外事業

- (PLC) 事業費削減や代理店売却益、運用収益増加が貢献し増益
- (TAL) 再保険の見直しにより一時益が発生も、支払増の影響等で減益
- (DLVN) 解約・失効の増加に伴い減益

非保険事業

- (AM事業)DMREの利益貢献開始により増益
- (BO)子会社化に伴う収益貢献額増加で増益

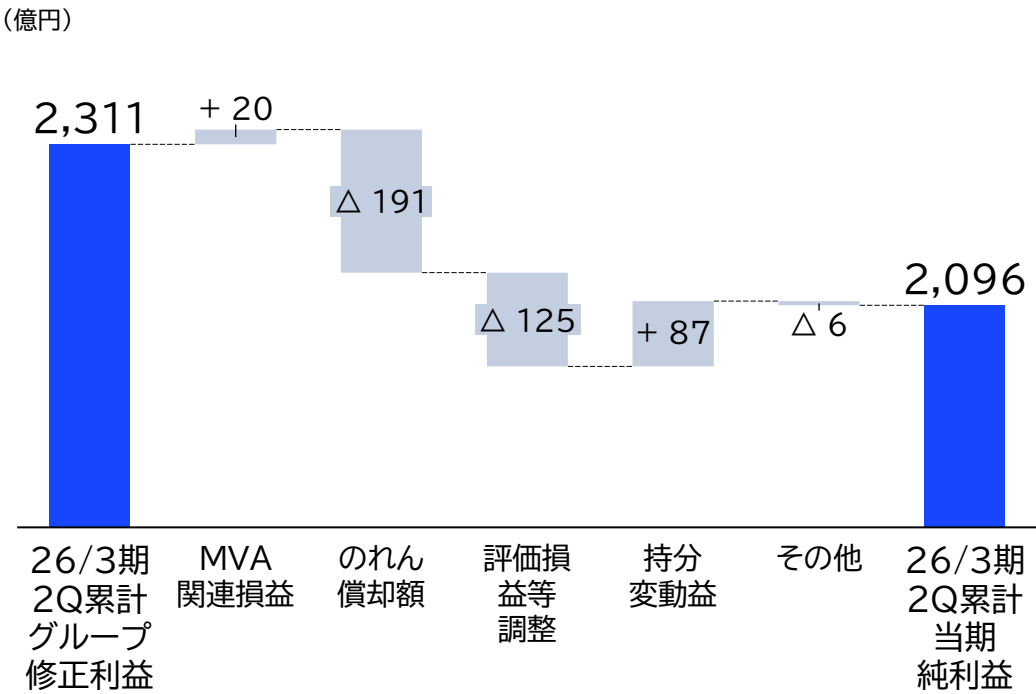
HD・その他

- (DLRB)前年の一時益の剥落(Δ114億円)に加え、スプレッド拡大の影響を受け減益
- (HD)インフレ影響やコーポレート機能拡張に伴う費用増等

会計利益は市場変動等の影響を受けるも、
当社の利益創出力に変化はなく、グループ修正利益は順調に推移

- ▶ PLCの修正共同保険式再保険(Modco)等の影響による損失が発生し、会計利益は一定の影響を受けるも、当社の本質的な利益創出力には影響はない
- ▶ M&Aの実行に伴いのれん償却額は増加。DLRBの評価性の損失は米信用スプレッドが縮小傾向にあり、損失幅は減少

修正利益・当期純利益 主な差異要因



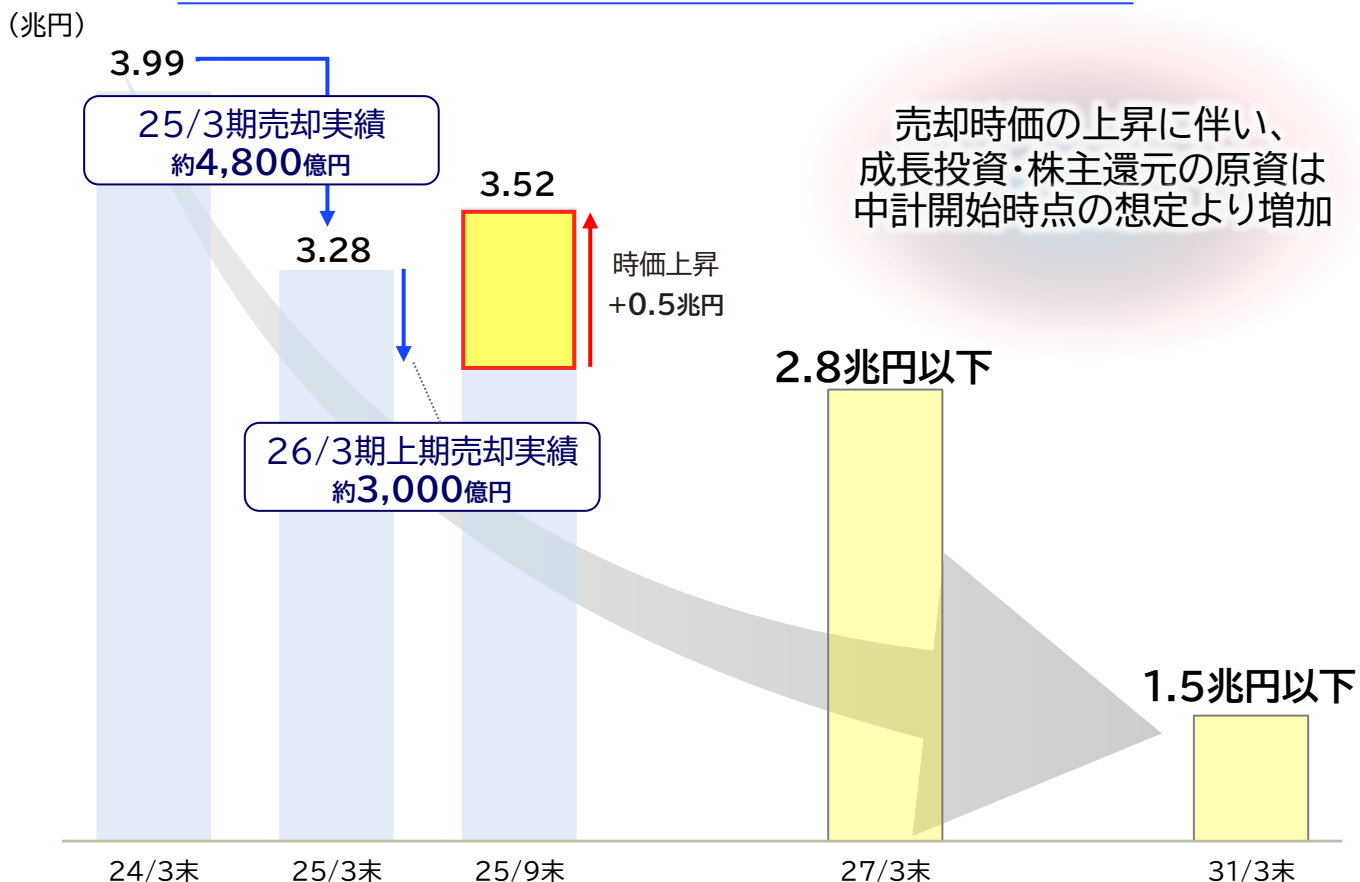
	26/3期 2Q(累計)	主な変動要因
MVA関連損益	+20	-
のれん等償却額	△191	[－] M&A実行により償却額増加
評価損益等調整	△125	[＋] (TAL)信用スプレッドの縮小に伴う評価益増加 [－] (PLC) Modco等に係る損失 (DLRB)資産負債評価調整額 等
持分変動益	+87	[＋] (DMRE) JV化に伴う影響
その他	△6	-

※詳細な組替えはp45に掲載

株価上昇に伴う株式リスクの増加に対応し、国内上場株式の売却額を増額

- ▶ 中期経営計画におけるリスク削減計画に基づき、25/3期は計画通りDL国内上場株式売却を実施した結果、株式リスクは中計開始時点から縮減
- ▶ 26/3期についても、計画に基づく売却を進める一方で、国内株式相場の上昇に伴い、9月末時点における株式時価残高は3月末時点を上回っている状況。かかる状況を踏まえ、27/3末における国内上場株式の時価残高目標2.8兆円に向けて、中計で定めるリスク削減方針に基づき、今年度中の追加売却を実施する。今年度の売却時価は当初計画分とあわせて約7,000億円となる見込み

DL国内上場株式残高の推移と見通し



26/3期における国内上場株式の売却見通し

期初 現在

3,800億円 → **New** 約7,000億円

25/3期-26/3期の売却総額は1兆円を超える水準に

DL国内上場株式残高について、27/3末時点で2.8兆円以下、31/3末時点で1.5兆円以下を目指す方針は不変

債券ポートフォリオの入替えを加速 金利上昇による追い風もあり順ざやは着実に拡大

- ▶ 順ざやの拡大に向け、国内金利の上昇が継続するマーケット環境を踏まえ、円確定利付資産の入替え規模を増額
- ▶ 株式売却に伴う利配収入の低下を、オルタナティブ投資の拡大や円確定利付資産の入替え等による利回りの向上で相殺し、順ざやは着実に拡大
- ▶ 今期実施のオペレーションにより、年換算ベースで250億円程度の順ざや改善を見込む

順ざや拡大に向けた取組み

国内債券ポートフォリオの入替え見通し(2025年度)

入替え対象およびP/L影響

対象:円確定利付資産リバランス 最大約1兆円を想定
(期初想定対比+4,000億円)
入替えに伴う売却損見通し: 約2,000億円
(期初想定対比+1,200億円)

順ざや改善効果
170億円⁽¹⁾/年程度
(24/3比:+320億円程度)

【予定利息支払の見通し】

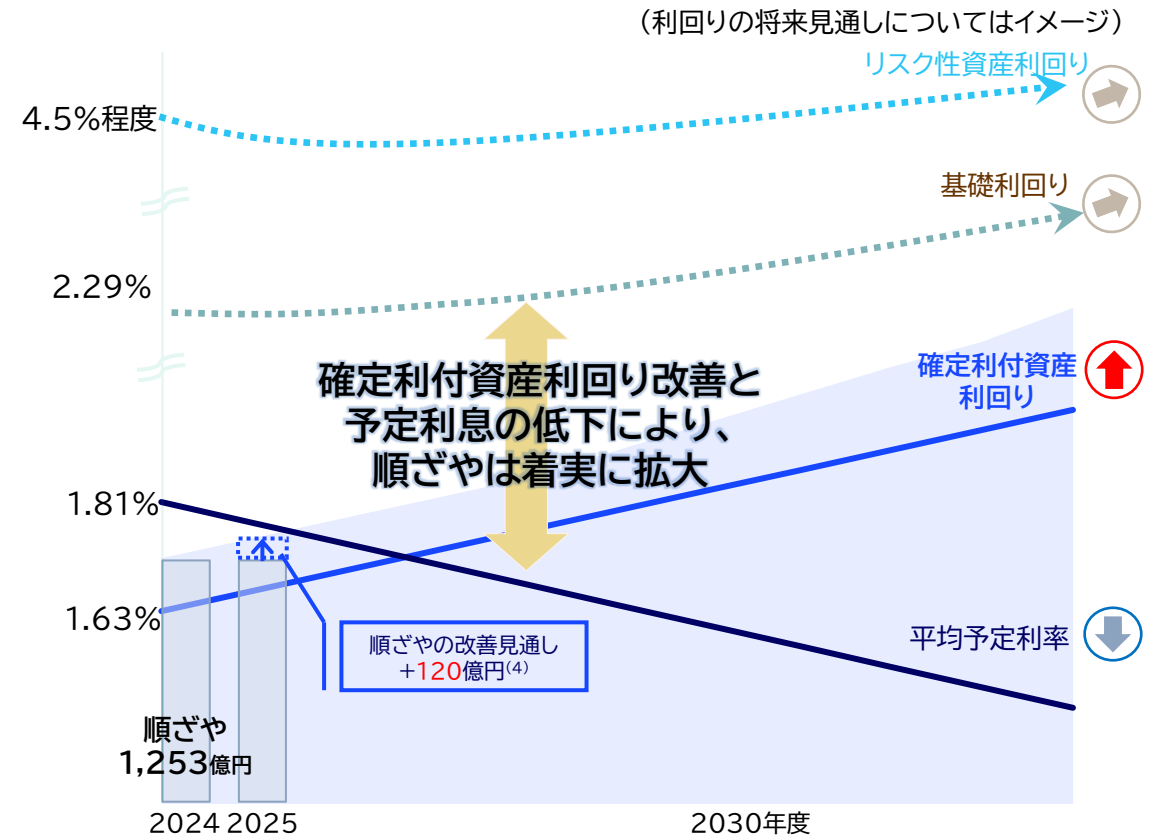
出再効果もあり、足元では100億円/年を超える負債コスト削減効果
(中長期的には、平均60億円/年程度改善の見通し)⁽²⁾

【リスク性資産の投資状況】

国内上場株式を売却しリスク量を削減しつつ、オルタナティブ資産等の非流動性資産の投資を拡大することで、リスクリターンを改善し、利配収入は中期的に拡大(短期的には概ね横ばい~微増)を見込む

株式売却に伴う利息配当金収入の減収を考慮しても、着実な順ざや改善を見込む

[再掲][DL]順ざやと資産別利回り・平均予定利率の推移と見通し⁽³⁾

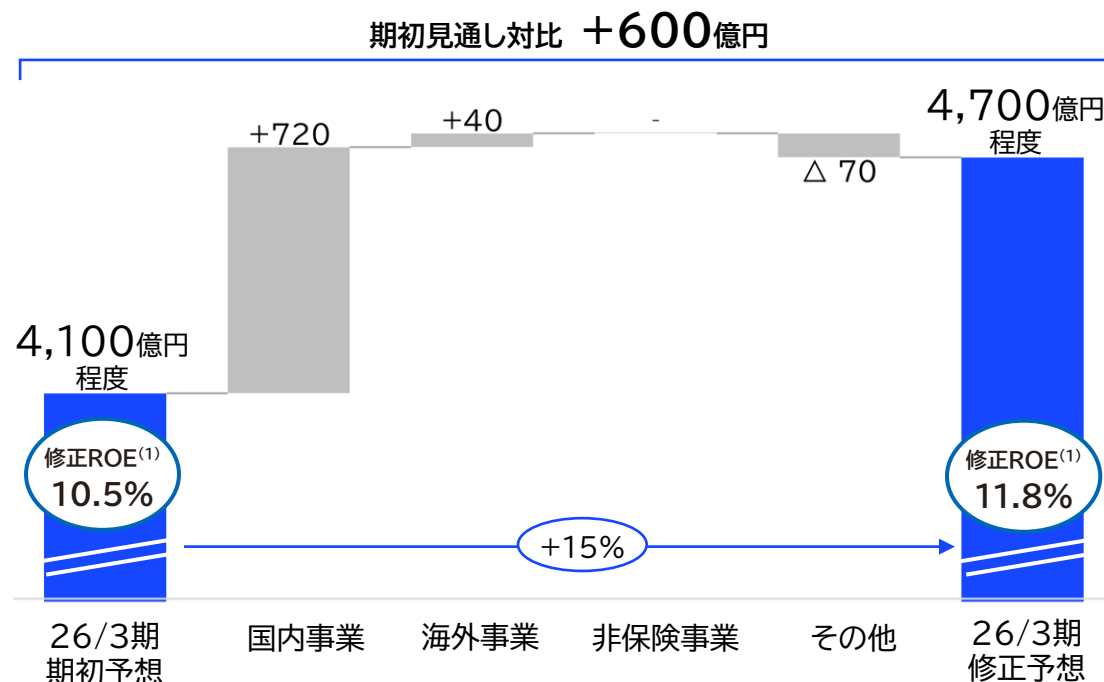


**Daiichi Life
Group**

- グループ修正利益 通期見通しの変動要因



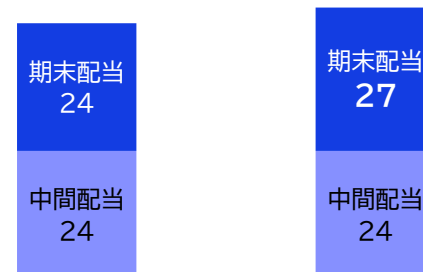
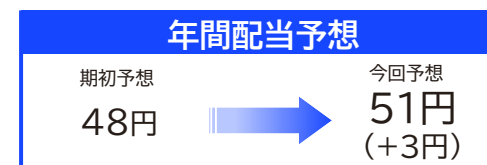
- ✓ DLにおける株式売却益
- ✓ 米国のスプレッド変動によるDLRBの損益 等



1株あたり配当金予想

	24/3期	25/3期	26/3期 (予想)
修正利益	3,194	4,395	4,700

3年平均 × 配当性向45%



期初予想
(5月)

今回予想

主要子会社別修正利益 修正予想

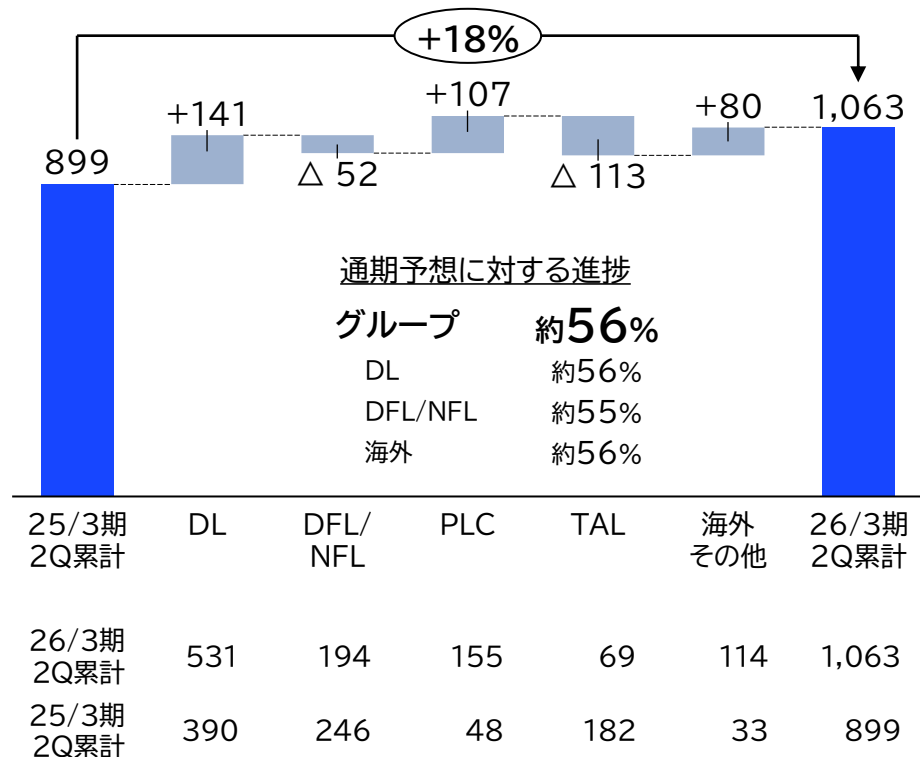
(単位:億円)	5/15公表予想	今回修正予想	増減額	今回予想での新たな織り込み要素(今期末まで)	(参考)26/3期 2Q(累計)実績	vs 5/15予想	vs 今回予想
第一生命	2,670	3,470	+800	[+] 国内株式売却額の増額 [-] 債券リバランス額の増額	1,586	59%	46%
第一フロンティア生命	395	310	△ 85	[-] 新契約コストの見直し引き上げ	92	23%	30%
ネオファースト生命・iPet	△ 75	△ 75	-	-	△ 19	-	-
PLC	600	750	+150	[+] 保険前提の見直し(年次)の影響	369	62%	49%
オセアニア	470	360	△ 110	[-] 通期支払い見通しの悪化	220	47%	61%
アジア	90	90	-	-	53	59%	59%
アセットマネジメント事業	185	185	-	-	73	39%	39%
ベネフィット・ワン	20	20	-	-	5	25%	25%
DLRB	200	130	△ 70	[-] 経済環境の変動を反映(米国スプレッド拡大)	35	18%	27%
HD・その他	△ 455	△ 455	-	-	△ 103	-	-
合計	4,100程度	4,700程度	+600		2,311	56%	49%

決算のポイント – 契約実績(新契約価値、新契約・保有年換算保険料)

- ▶ 新契約価値(概算値)は、TALで前年度の大型団保獲得の影響が剥落し減少した一方で、主に金利上昇の影響によりDLで増加し、グループ全体では+18%増の1,063億円
- ▶ 新契約年換算保険料は、グループ全体で前年同期比11.8%減の2,684億円(為替影響除き9.3%減)。国内は、DFLで円貨建商品の販売が増加。海外は、TALで前期に獲得した大型団体保険の影響が剥落して、為替影響除きで前年同期比27.6%減(為替影響含み34.2%減)

新契約価値(概算値)⁽¹⁾

(億円)



新契約年換算保険料

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年 同期比
国内4社計	1,897	1,930	+ 1.7%
DL	560	530	△5.4%
DFL	1,240	1,291	+4.1%
NFL	62	72	+16.1%
ipet	35	37	+5.8%
海外6社計	1,146	754	△34.2% (△27.6%)
PLC	579	543	△6.2% (+4.3%)
TAL	423	94	△77.7% (△77.5%)
PNZ	22	26	+17.5% (+24.0%)
DLVN	111	81	△27.5% (△17.4%)
DLKH/DLMM	10	10	△3.8% (+6.9%)
第一生命グループ計	3,043	2,684	△11.8% (△9.3%)

保有契約年換算保険料

	25/3期	25/9期	前期末比
国内4社計	33,198	34,163	+2.9% (+2.8%)
DL	19,450	19,491	+0.2%
DFL	12,342	13,224	+7.2%
NFL	1,000	1,020	+1.9%
ipet	406	428	+5.5%
海外6社計	16,396	16,808	+2.5% (+6.9%)
PLC	8,819	8,976	+1.8% (+11.2%)
TAL	5,694	6,058	+6.4% (+2.1%)
PNZ	557	582	+4.5% (+3.6%)
DLVN	1,289	1,147	△11.0% (△0.4%)
DLKH/DLMM	37	45	+21.8% (+33.0%)
第一生命グループ計	49,593	50,971	+2.8% (+4.2%)

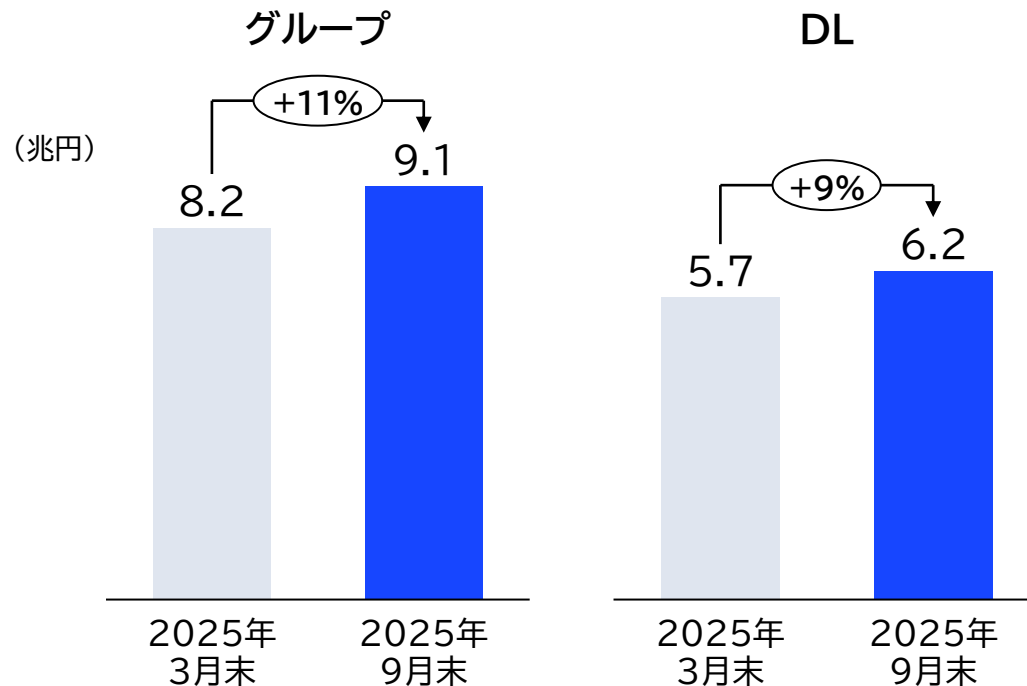
(1)確定値は11/27に公表予定。25/3期の海外の実績は旧基準

決算のポイント – 経済価値(EV・ESR)⁽¹⁾

- ▶ グループEVは、DLが保有する国内株式相場上昇の影響等で前期末比+11%増の約9.1兆円
- ▶ グループ資本充足率(ESR)は、金利上昇による大量解約リスクの増加等により所要資本が増加した一方で、国内株式の上昇等により適格資本の増加幅が上回ったことから、前期末比約7%pt増加の約217%

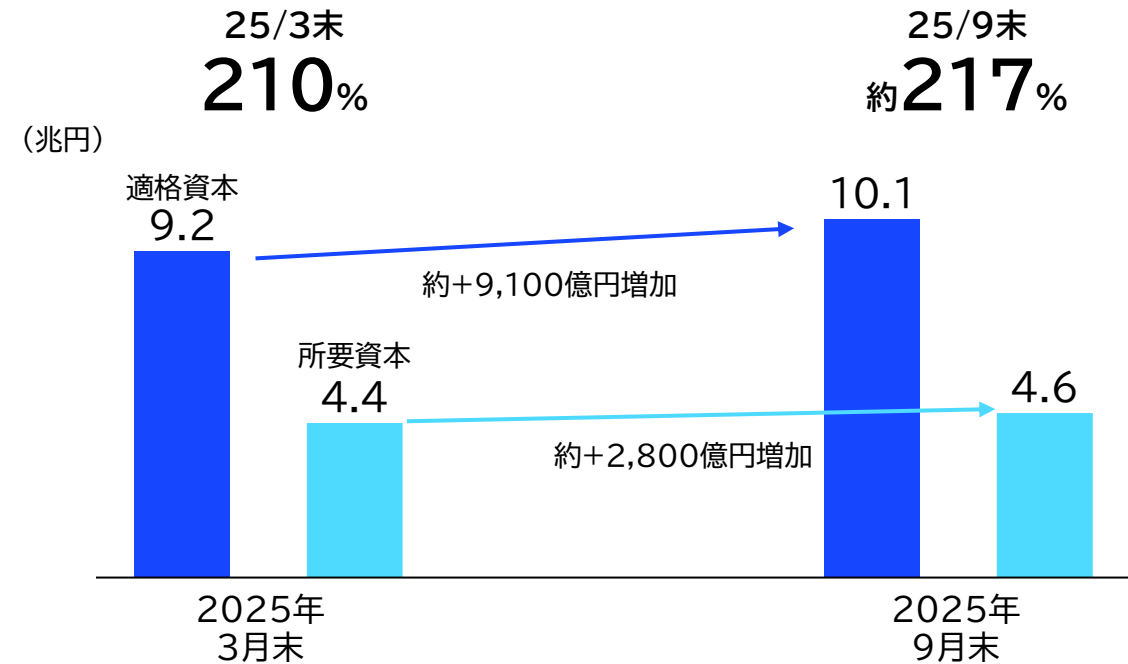
グループEV (概算値)

25/9末 約**9.1**兆円 (前期末比)
約+11%



グループESR (概算値)

25/9末 約**217**% (前期末比)
約+7%pt



(1)確定値は11/27に公表予定

2026年3月期 通期業績予想

- ▶ 順調な利益進捗、DLの株式売却見通しの修正等を踏まえて、グループ修正利益の通期見通しを+600億円上方修正し4,700億円とする
- ▶ 1株あたり配当の通期予想を5月公表の48円から51円に引き上げる(5月公表予想+3円)

(億円)	25/3期 2Q(累計)	26/3期 2Q(累計)	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	25/3期 通期実績	26/3期通期予想 5月公表予想	今回	業績予想 増減額
連結経常収益	51,912	51,196	△ 716	△ 1%	56%	98,733	91,620	103,220	+ 11,600
第一生命	20,457	20,730	+ 274	+ 1%	52%	44,150	40,220	44,900	+ 4,680
第一フロンティア生命	22,905	15,646	△ 7,260	△ 32%	56%	34,957	28,020	31,240	+ 3,220
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	6,789	6,535	△ 254	△ 4%	58%	13,868	11,200	14,210	+ 3,010
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	4,385	4,402	+ 17	+ 0%	60%	8,176	7,380	7,950	+ 570
連結経常利益	3,721	3,434	△ 287	△ 8%	56%	7,191	6,170	7,000	+ 830
第一生命	2,569	2,740	+ 171	+ 7%	56%	5,386	4,880	6,040	+ 1,160
第一フロンティア生命	272	188	△ 84	△ 31%	36%	499	520	460	△ 60
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	247	216	△ 30	△ 12%	72%	466	300	290	△ 10
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	326	355	+ 29	+ 9%	55%	606	650	510	△ 140
連結純利益⁽²⁾	2,332	2,096	△ 236	△ 10%	60%	4,296	3,470	4,000	+ 530
第一生命	1,479	1,586	+ 107	+ 7%	59%	3,055	2,670	3,470	+ 800
第一フロンティア生命	176	112	△ 64	△ 37%	32%	329	350	310	△ 40
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	201	181	△ 21	△ 10%	75%	389	240	250	+ 10
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	228	251	+ 23	+ 10%	56%	416	450	350	△ 100
グループ修正利益	2,452	2,311	△ 142	△ 6%	56%	4,395	4,100程度	4,700程度	+ 600
グループ新契約価値	899	1,063	+ 164	+ 18%	56%	1,724	1,900程度	1,900程度	-
1株あたり配当(円)⁽³⁾						34	48	51	+ 3
(参考)株式分割前						137	192	204	+ 12
(参考)基礎利益	3,063	2,734	△ 329	△ 11%	50%	6,388	5,500程度	5,500程度	-
第一生命	1,601	1,566	△ 35	△ 2%	51%	3,603	3,100程度	3,340程度	+ 240

(1)PLCおよびTALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益 (3) 25/3期の1株あたり配当は、株式分割を考慮した換算額。下段は株式分割前の配当金(25/3期は実績、26/3期は換算額)

PLCによるPortfolio社の買収(アセットプロテクション事業)

- ▶ PLCが、カリフォルニア州に本社を置きアセットプロテクション(APD)事業を展開するPortfolio社を買収
- ▶ 買収資金はPLC手元資金(一部PLCによる借入による資金調達を含む)で対応、グループ資本政策への影響なし
- ▶ 既存APD事業との統合により費用面でのシナジーが見込まれ、事業規模拡大によりAPD事業の利益規模は倍増を見込む

グループ財務影響等

買収対象	Portfolio Holding, Inc (アセットプロテクション事業会社)
買収金額/ 資金手当	非公表 / PLCの手元資金(借入含む)で対応
買収完了時期	2025年末までに買収完了見込 ⁽¹⁾
利益貢献	APD事業利益に対して、次期中計以降、 中長期的に50-100百万米ドル程度 ⁽²⁾ を見込む
グループESR への影響	4-5%程度の減少を見込む

買収の戦略的意義

APD事業の強化	✓ Portfolio社の優れた再保険スキームを活用し、ビジネスモデルの効率性を向上 ✓ 外部を活用していた主要機能を内製化し、コストシナジーを創出
APD事業の レジリエンス確保	✓ フィー収入比率の向上により利益のボラティリティを低減 ✓ 相互補完性の高い販売地域の分散
規模拡大による 費用効率の向上	✓ システム統合・基盤共通化による業務効率化 ✓ 外部活用の最適化によるコストシナジー創出

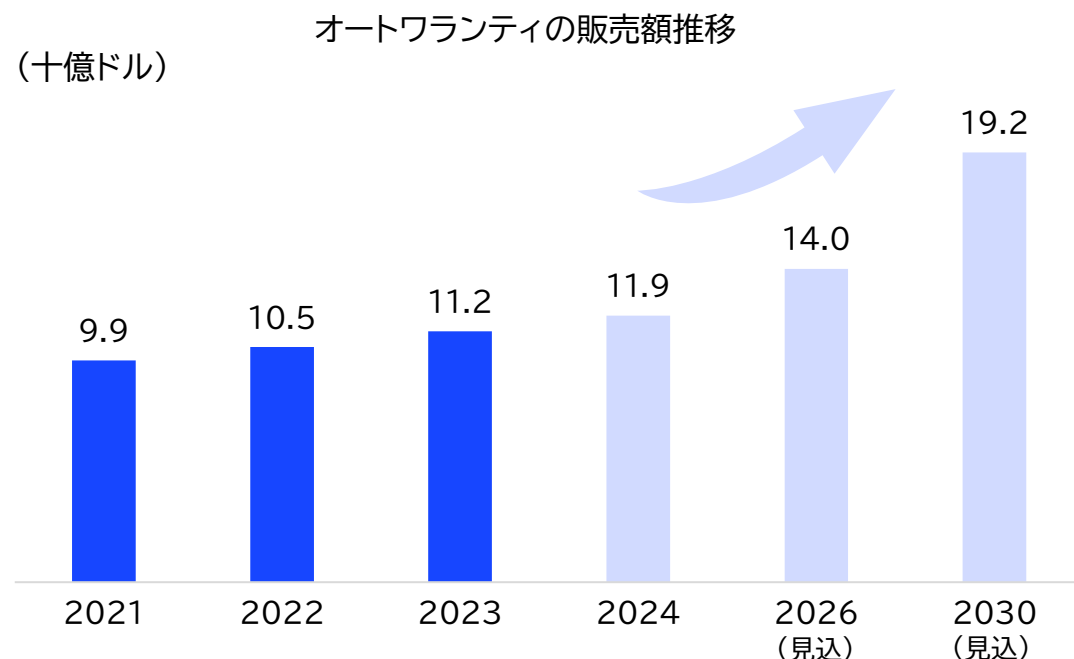
(1) クロージング条件充足、関係当局の承認を前提とする (2) 会計利益から無形資産償却額および一部費用を控除して算出したAPD事業利益への貢献額

オートワランティ市場動向／APD事業規模(PLC・Portfolio社)

- ▶ オートワランティ市場は、EVなど高機能・高額車両の修理・交換コスト上昇を回避したいという消費者心理や、オンラインチャネルの拡大を背景に今後も成長が見込まれる
- ▶ PLCとPortfolio社は得意とする販売ディーラー層や地域が異なり、補完関係を通じたシナジーの創出・享受が期待される

オートワランティ市場の動向⁽¹⁾

- ✓ EV普及や高額修理リスク回避の需要により、延長保証の需要・市場は拡大見通し

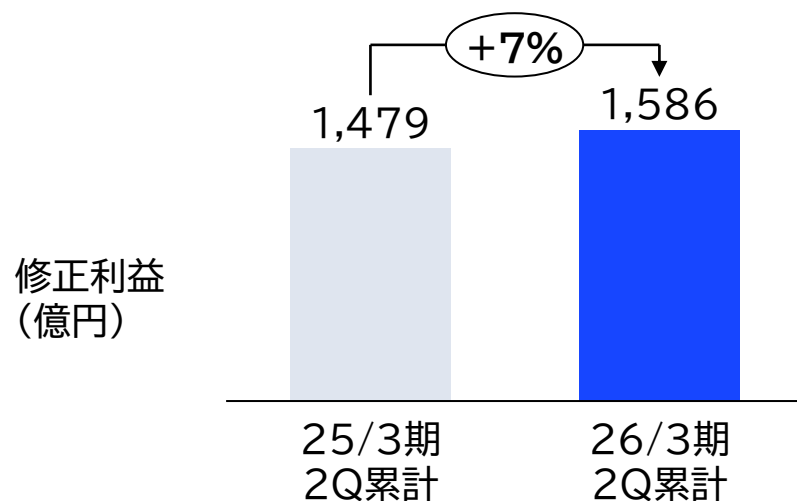


APD事業規模

	PLC (APD事業)	Portfolio Holding, Inc.
新契約件数 (2024年度)	約250万件	約360万件
販売ディーラー	約8,500 (大規模ディーラー)	約4,000 (中規模ディーラー)
販売地域	中西部・中東部に強み	中南部および西海岸・東海岸に強み
フィー収入の 占める割合	45-50%程度	70-80%程度

グループ各社の業績概要

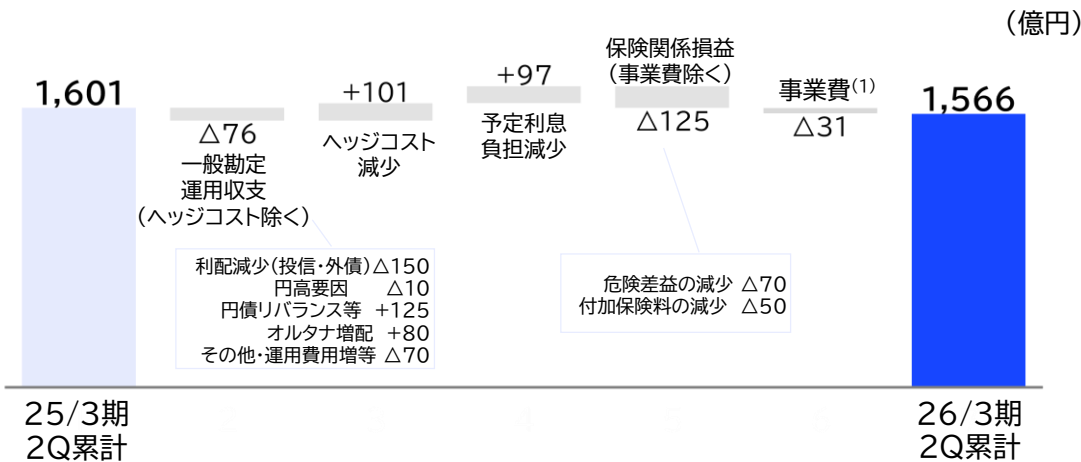
- ▶ 順ざやは、投信等からの利配収入の減少を、円建債券やオルタナ資産(PE等)の増配、ヘッジコスト減少等で相殺し、前年同期比+25%増の610億円
- ▶ 保有契約減少の影響等により保険関係損益が悪化したことで、基礎利益は前年同期比△2%減の1,566億円
- ▶ 当期純利益は、基礎利益の減益を、有価証券売却益の増加で相殺し、前年同期比+7%増の1,586億円



(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	10,745	11,375	+ 629	+ 6%
基礎利益	1,601	1,566	△ 35	△ 2%
順ざや	489	610	+ 121	+ 25%
うちヘッジコスト	△ 230	△ 129	+ 101	
保険関係損益	1,112	956	△ 156	△ 14%
キャピタル損益	1,121	1,346	+ 226	+ 20%
有価証券売却損益	1,007	1,465	+ 458	
投信解約損益	262	165	△ 97	
金融派生商品損益	△ 8	△ 337	△ 329	
為替差損益(除くヘッジコスト)	△ 168	115	+ 283	
有価証券評価損	△ 36	△ 64	△ 28	
臨時損益	△ 152	△ 171	△ 19	-
新規追加責任準備金繰入額	△ 246	△ 207	+ 39	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	100	40	△ 60	
再保険関連収支	-	-	-	
経常利益(損失)	2,569	2,740	+ 171	+ 7%
特別損益	△ 101	△ 65	+ 35	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 60	△ 60	-	
契約者配当準備金繰入額	△ 425	△ 476	△ 51	
法人税等合計	△ 565	△ 614	△ 49	
当期純利益(損失)	1,479	1,586	+ 107	+ 7%
(参考)基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽¹⁾	約+115	約+130	約+15	

(1) 再保険取引の影響額:19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

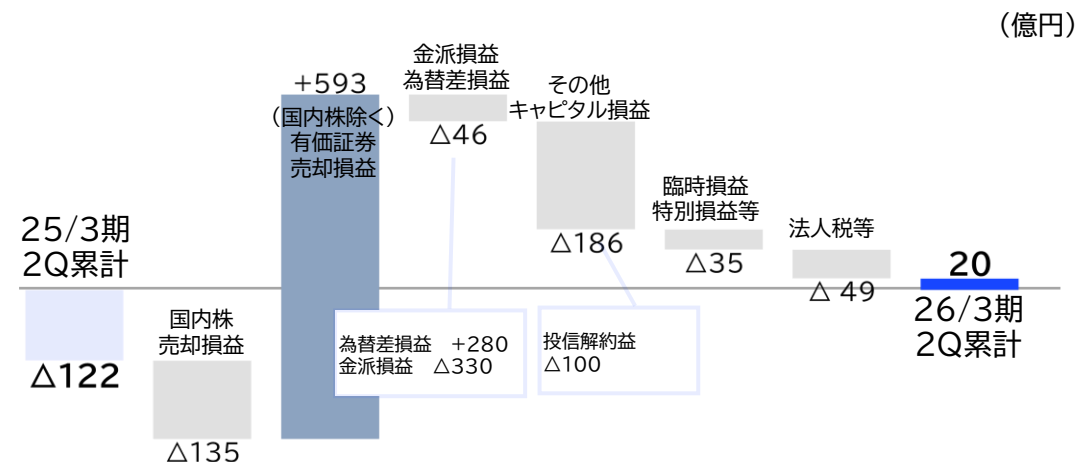
基礎利益の変動要因



()内は対前年同期比変化

- ✓ 一般勘定運用収支は、PE等のオルタナティブ資産からの配当は引き続き堅調であったものの、投信や外債からの利息配当金収入の減少に加え、運用費用の増加等もあり前年同期比で減少
- ✓ 保険関係損益は、個人保険の保有契約減少に伴う危険差益・付加保険料の減少(△120億円)や事業費の増加等により前年同期比で減少

キャピタル損益等の変動要因

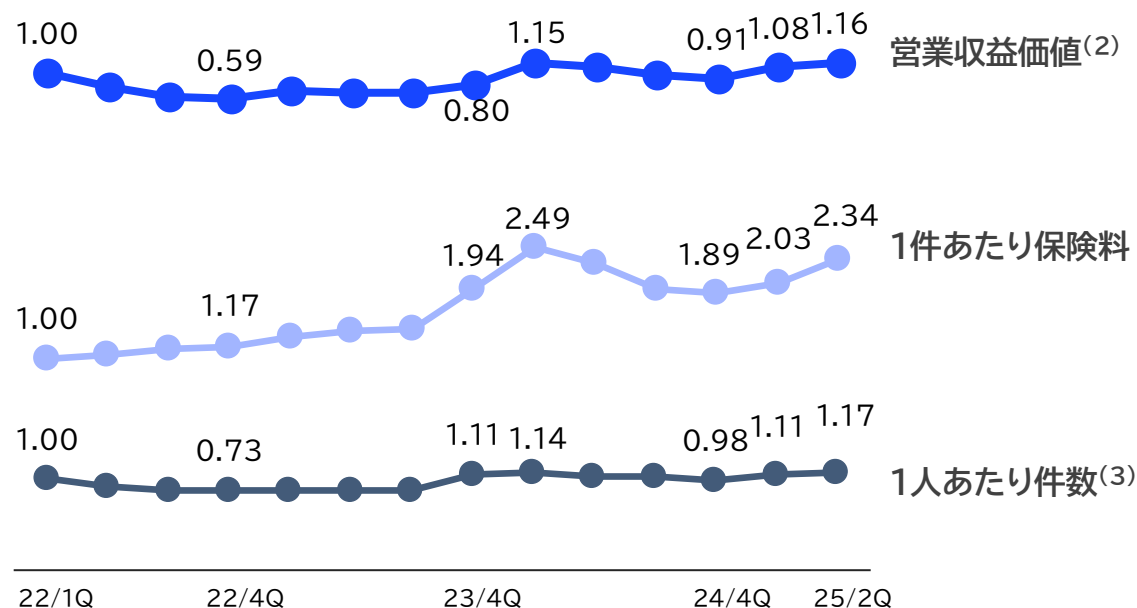


(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	予算比と増減要因(前年同期比)
有価証券売却損益	1,007	1,465	+ 458	約+600
国内株式	2,288	2,153	△ 135	(+) 株価上昇 (-) 株式売却額
円建債券	△ 1,610	△ 788	+ 822	(+) 前期2Qの大型リバランス損の剥落 (-) 金利上昇に伴う売却損の拡大
ヘッジ外債	△ 217	△ 1	+ 216	(+) 売却損の剥落
その他	547	101	△ 445	(-) 外国株式の入替え等

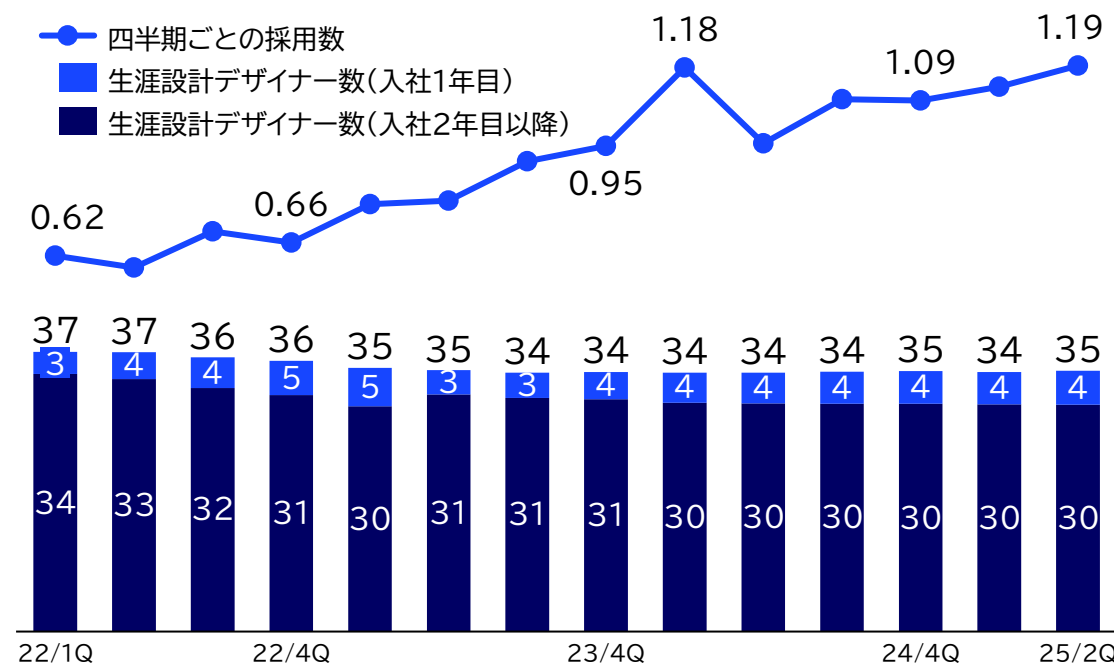
- ✓ 有価証券売却損益は、国内株の売却益や外国株式の入替えに伴う売却益は減少したものの、前年同期のJGBリバランスに伴う売却損の剥落によって前年同期比で増加
- ✓ その他キャピタル損益の減少は、投信解約益の減少(△100億円)が主要因

(1) HDへの支払経営管理料を含む

営業収益価値の推移(生涯設計デザイナーチャネル)⁽¹⁾



生涯設計デザイナー数の推移(千人)

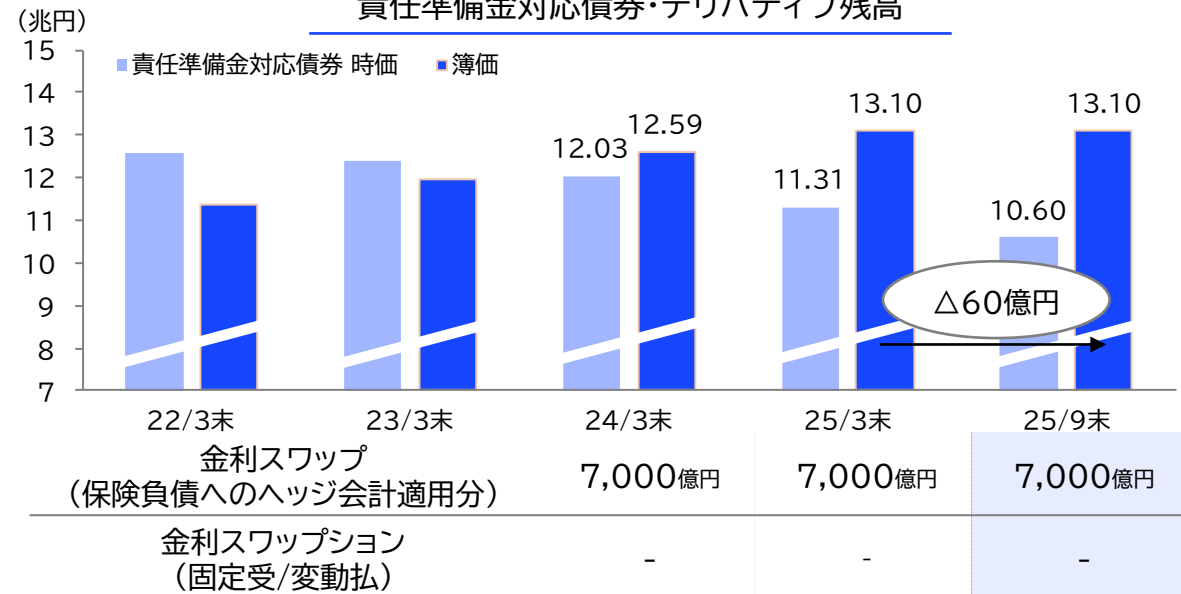
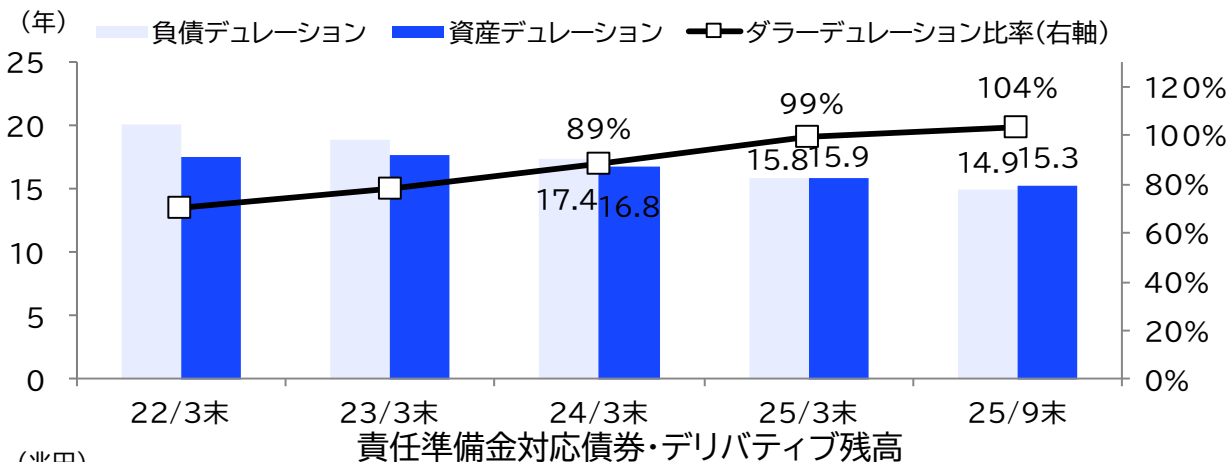


(1)2022年度1Qを1として指数化した数値。(2)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値。24/1Qに算出基準の一部を変更(23/1Qから遡及適用)

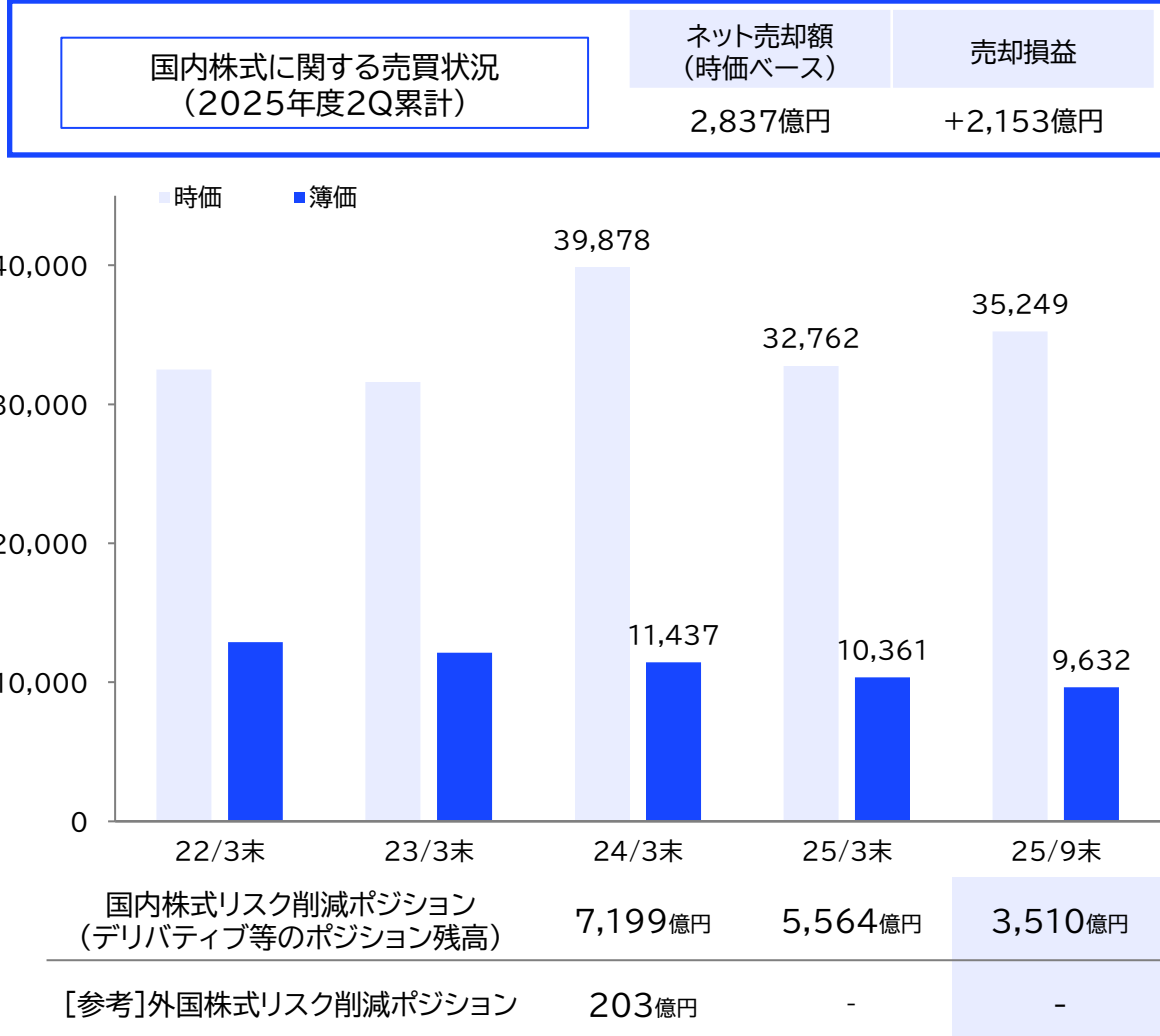
(3)入社1年目を除く生涯設計デザイナーの件数および在籍数で計算

[グループ各社の業績概要] 第一生命 – 市場関連リスク削減の取組状況

デュレーションと責任準備金対応債券の積増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾

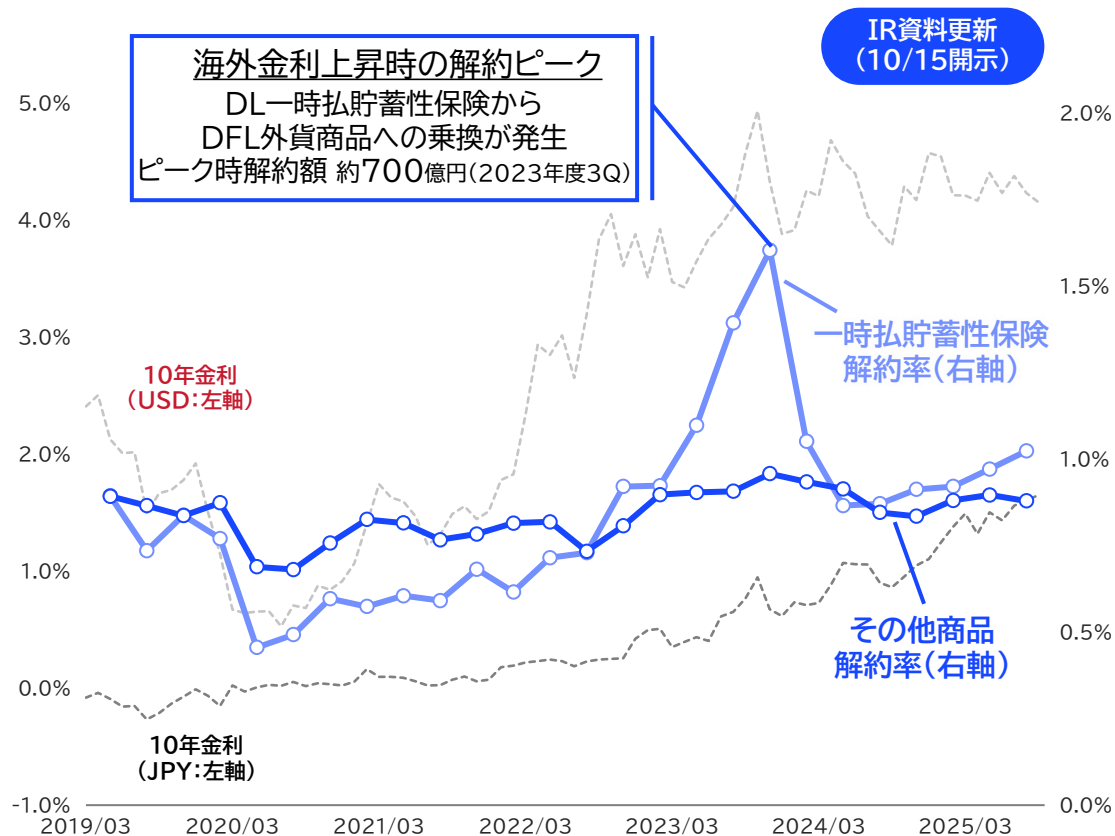


(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高。「ダラーデュレーション比率」は、上記の資産・負債に関して「(資産デュレーション×資産時価)÷(負債デュレーション×負債現在価値)」にて計算。責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指す

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。25/9末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は538億円

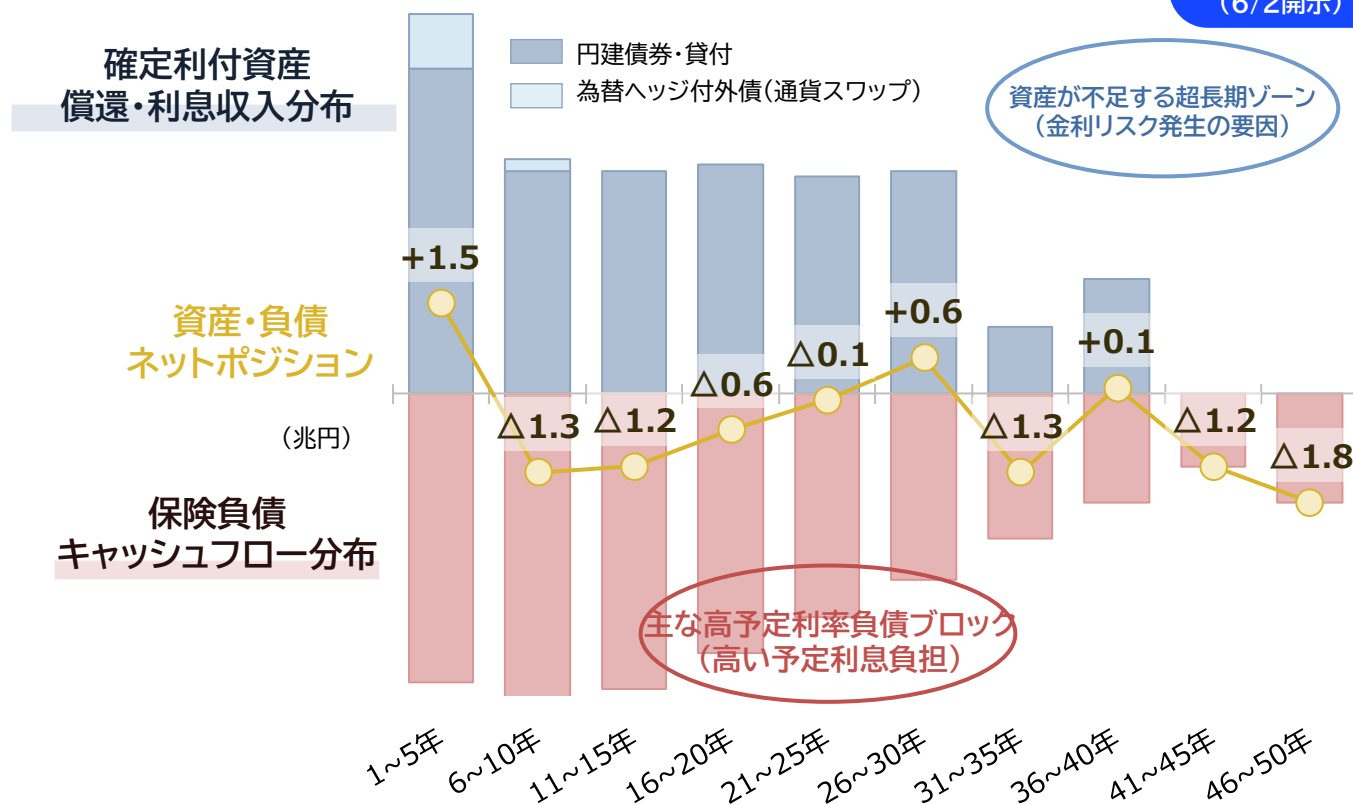
[一部抜粋]貯蓄性商品の解約リスク

市中金利と貯蓄性商品における解約率⁽¹⁾の変遷⁽²⁾

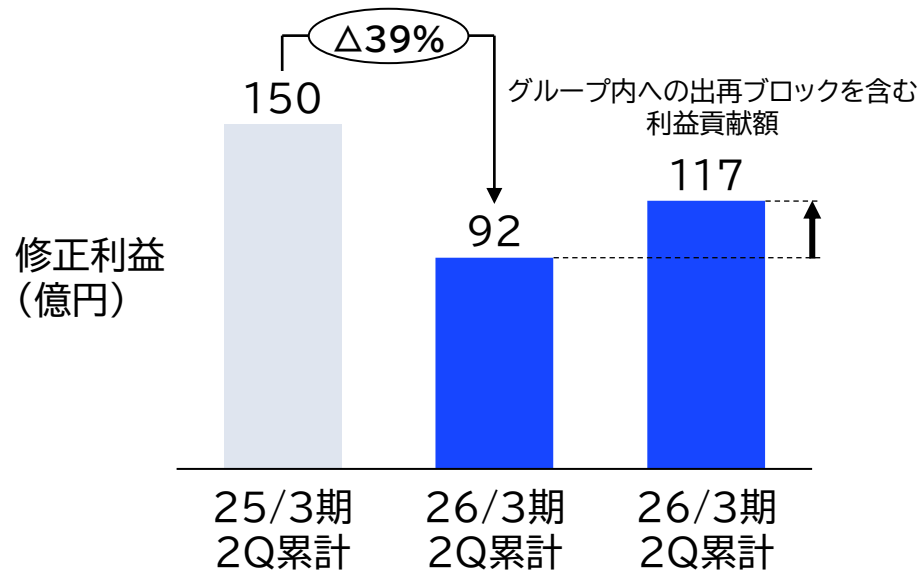


第一生命の資産・保険負債のキャッシュフロー構造(5年ごと累計・概算値)

IR資料抜粋
(6/2開示)

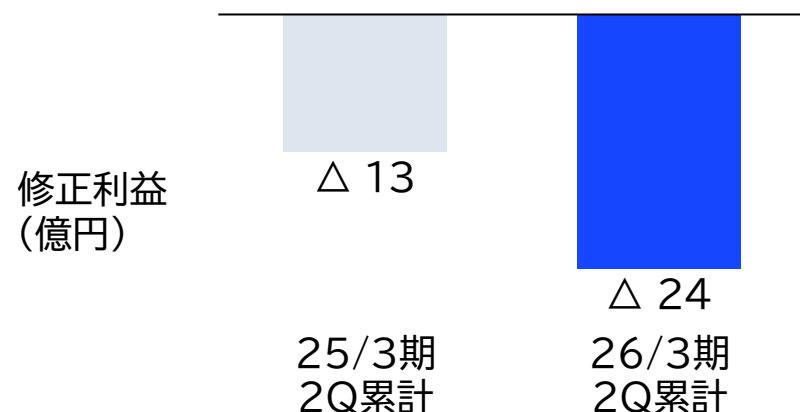


- ▶ 当期純利益は、保有契約の拡大により順ざやが順調に拡大したものの、円建商品等の非出再商品の販売増加に伴う新契約費用の増加等に伴い減益となり、112億円(前年同期比△37%)
- ▶ MVA関連損益を除いた修正利益は、92億円(前年同期比△39%)。グループ内出再分を含めた利益貢献額は、米国市場におけるスプレッド縮小に伴いDLRBからの利益貢献がプラス寄与に転じたものの、117億円(対前年比△66%)となった



(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	16,937	14,121	△ 2,816	△17%
基礎利益	412	319	△ 93	△23%
順ざや	212	249	+ 37	
保険関係損益等	199	70	△ 129	
キャピタル損益	△ 141	△ 35	+ 105	
MVA関連損益	36	27	△ 9	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)等	△ 177	△ 62	+ 114	
臨時損益	1	△ 95	△ 97	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	1	△ 88	△ 89	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	△ 0	△ 8	△ 8	
経常利益(損失)	272	188	△ 84	△31%
特別損益	△ 28	△ 31	△ 3	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 27	△ 31	△ 4	
法人税等合計	△ 69	△ 46	+ 23	
当期純利益(損失)	176	112	△ 64	△37%
MVA関連損益(税前)	△ 36	△ 27	+ 9	
法人税等調整等	10	8	△ 2	
修正利益	150	92	△ 58	△39%
グループ内出再に伴う連結調整	11	11	-	
グループ修正利益寄与額	160	103	△ 58	△36%
グループ内への出再ブロックを含む利益貢献額	339	117	△ 222	△66%

- ▶ 保険料等収入(再保険収入を除く)は、がん保険の販売が引き続き好調に推移したことに加え、経営者向け新商品の導入効果も継続したことにより保有契約が増加し、前年同期比+5%増の503億円
- ▶ 当期純利益は、販売増加に伴う新契約費用の増加等による事業費増等により△24億円(前年同期は△13億円)

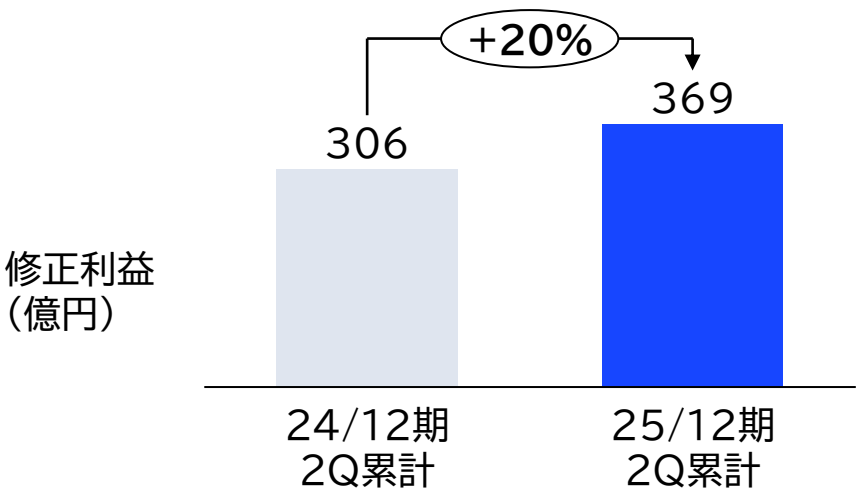


(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	479	503	+ 24	+ 5%
保険金等支払金(再保険料を除く)	Δ 329	Δ 306	+ 23	
保険金・年金・給付金	Δ 80	Δ 92	Δ 12	
解約返戻金・その他返戻金	Δ 249	Δ 214	+ 35	
責任準備金等繰入額	Δ 15	Δ 96	Δ 81	
危険準備金繰入(Δ)/戻入額(+)	Δ 0	Δ 1	Δ 0	
事業費	Δ 178	Δ 194	Δ 17	
再保険収支	9	20	+ 12	
資産運用損益・その他経常損益	17	41	+ 24	
資産運用損益	5	7	+ 2	
その他経常損益	12	34	+ 22	
経常利益(損失)	Δ 18	Δ 32	Δ 15	-
特別損益	Δ 0	Δ 0	Δ 0	
法人税等合計	5	8	+ 4	
当期純利益(損失)	Δ 13	Δ 24	Δ 11	-
基礎利益	Δ 17	Δ 32	Δ 15	-
(参考)グループ内出再に伴うグループ修正利益調整額	12	11	Δ 1	

[グループ各社の業績概要]海外保険事業 – 米プロテクティブ

※25/12期3Q(7-9月)決算は、現地時間11/14に公表予定

- ▶ 営業利益は、買収事業で保険金等の支払いが増加した一方で、プロテクション事業で保険金等の支払いの減少、リタイアメント事業で子会社のConcourse Securitiesの売却益、運用収益の増加が貢献し、前年同期比+37%の330百万米ドル
- ▶ 単体の当期純利益は、株価低下に伴う評価損の計上等により、前年同期比△10%の181百万米ドル。修正利益は、当期純利益から+74百万ドル調整されて255百万米ドル(前年同期比+34%)

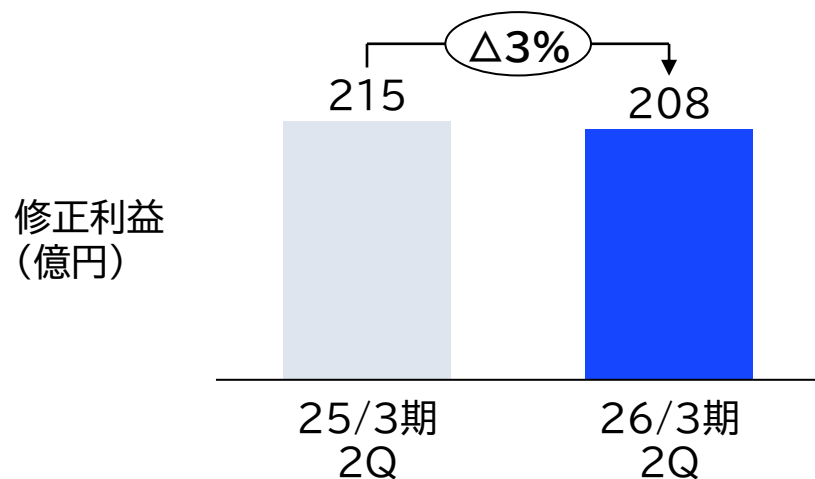


(百万米ドル)	24/12期 2Q累計	25/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	2,891	2,633	△ 258	△ 9%
税引前営業利益 ⁽¹⁾	241	330	+ 89	+ 37%
プロテクション	24	51	+ 26	+ 108%
リタイアメント	94	158	+ 64	+ 68%
買収	169	160	△ 9	△ 5%
ステーブルバリュー(SV)	48	32	△ 16	△ 33%
アセットプロテクション(AP)	10	16	+ 6	+ 67%
エンプロイー・ベネフィット ⁽²⁾	-	12	+ 12	-
コーポレート等	△ 104	△ 99	+ 5	-
営業外損益(償却調整後)	7	△ 115	△ 122	
債券売却損益	1	△ 18	△ 19	
債券評価損・株式評価損益等	13	△ 30	△ 43	
商業用不動産ローン貸倒引当金増減	△ 2	△ 6	△ 4	
修正共同保険式再保険に関する損益	△ 14	△ 97	△ 83	
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△ 8	23	+ 30	
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動	22	10	△ 12	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△ 5	9	+ 14	
法人税等	△ 47	△ 35	+ 12	
当期純利益(損失)	201	181	△ 20	△ 10%
修正利益への調整	△ 11	74	+ 85	
修正利益	190	255	+ 65	+ 34%
修正利益 ※円換算後: 億円	306	369	+ 63	+ 20%
決算為替レート(対円)	161.07	144.81	△ 16.26	△ 10%

(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標
(2) 2024年11月に買収したShelterPoint。24/12期4Q決算から連結開始

[グループ各社の業績概要] 海外保険事業 – 豪TAL

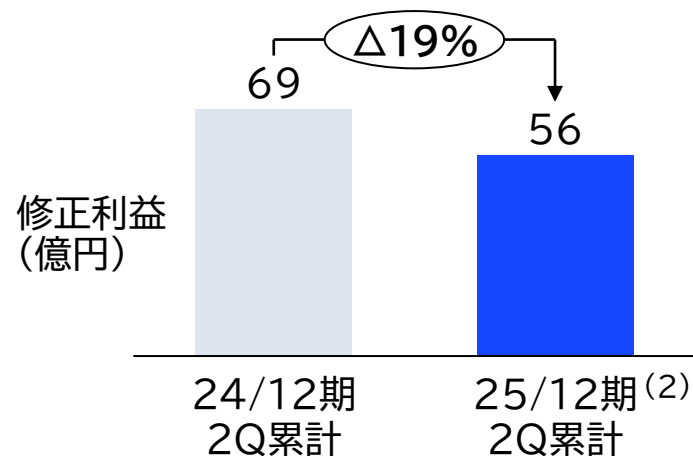
- ▶ 基礎的収益力は、保険金支払いが増加したことで前期比△9%の214百万豪ドル。当期純利益は、信用スプレッドの縮小に伴う社債の時価上昇等により評価益が増加し前期比+10%の251百万豪ドル。金利変動等の影響を除外した修正利益では213百万豪ドル
- ▶ 26/3期2Qより持分法を適用しChallengerの取込みを開始



(百万豪ドル)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	4,064	3,985	△ 80	△ 2%
基礎的収益力(税引後)	236	214	△ 22	△ 9%
保障事業	244	205	△ 39	△ 16%
その他	△ 8	9	+ 17	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 8	37	+ 45	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	12	44	+ 32	
統合コスト	△ 8	—	+ 8	
優先株配当等	△ 6	△ 4	+ 2	
その他	△ 6	△ 3	+ 3	
当期純利益(損失)	228	251	+ 23	+ 10%
修正利益への調整	△ 11	△ 38	△ 27	
修正利益	217	213	△ 5	△ 2%
修正利益 ※円換算後: 億円	215	208	△ 6	△ 3%
決算為替レート(対円)	98.73	97.89	△ 1	△ 1%

[グループ各社の業績概要] 海外保険事業 – 第一生命ベトナム

- ▶ 銀行窓販チャネルでは販売が増加した一方で、個人代理人チャネルでは減少し、保険料等収入は前年同期比△2%の8,985十億越ドン
- ▶ 当期純利益は、保険料等収入の減少および保険金・解約返戻金等の支払いの増加等により、前年同期比△8%の1,011十億越ドン



(十億越ドン)	24/12期 2Q累計	25/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	9,157	8,985	△ 172	△ 2%
初年度保険料	1,798	1,494	△ 304	△ 17%
継続保険料 ⁽¹⁾	7,359	7,491	+ 131	+ 2%
その他収益	1,476	1,494	+ 18	
資産運用収益等	1,741	1,728	△ 13	
再保険収支	△ 265	△ 235	+ 30	
事業費等	△ 3,422	△ 2,908	+ 515	
初年度販売手数料・経費等	△ 2,319	△ 1,806	+ 512	
継続手数料・事務管理費	△ 1,104	△ 1,101	+ 2	
保険金・解約返戻金等	△ 2,213	△ 2,477	△ 264	
責任準備金繰入額等	△ 3,632	△ 3,835	△ 203	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 3,717	△ 3,925	△ 208	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	85	90	+ 5	
法人税等	△ 270	△ 247	+ 22	
当期純利益(損失)⁽²⁾	1,095	1,011	△ 84	△ 8%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円 ⁽²⁾	69	56	△ 13	△ 19%
決算為替レート(対円)	0.0063	0.0055	△ 0.0008	△ 12%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	971	934	△ 37	△ 4%

[グループ各社の業績概要]非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)

- ▶ 26/3期2Qより第一ライフ丸紅リアルエステートを計上開始し、アセットマネジメント事業の修正利益は前年同期比+223%増の80億円
- ▶ ベネフィット・ワンの修正利益は19億円。会員数を着実に伸ばし、2025年9月末時点で1,023万人

非保険事業(アセットマネジメント事業) 修正利益

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減(%)
VTX	1	2	+ 146%
AMO	24	27	+ 12%
AMO (US)	0	1	+ 268%
DMRE	-	26	-
CP	-	4	-
Capula	-	19	-
And Do	-	2	-
	25	80	+ 223%

[参考] 預り運用資産

(兆円)	25/3末	25/9末	増減(%)
VTX	2.2	2.6	+ 20%
AMO	70.9	76.0	+ 7%
DMRE	-	1.9	-

(億ドル)	24/12末	25/6末	増減(%)
AMO (US)	218	169	△ 22%
CP	263	272	+ 3%

非保険事業(新規事業) 修正利益

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減(%)
BO	14	19	+ 38%
	14	19	+ 38%

[参考] 会員数(万人)

	25/3末	25/9末	増減(%)
BO	1,007	1,023	+ 2%

[参考]BOの無形資産償却額

のれん償却額 (約200億円/年・10年償却)
無形資産償却額(約30億円/年・24年償却)

ウェルス・マネジメント株式会社への出資(不動産アセットマネジメント事業)および 業務提携契約の締結を通じた協業



- ▶ 当社はホテル開発・運営等の不動産事業を営むウェルス・マネジメント株式会社(ウェルス社)への出資を決定
- ▶ ウェルス社が有するホテル開発・運営に係る豊富なノウハウとケイパビリティを取り込み、インバウンド需要で拡大が見込まれるホテル市場の成長機会を捉え
るとともに、不動産バリューチェーンを強化することで、国内不動産事業の拡大を企図

会社概要・財務影響等

会社名	ウェルス・マネジメント株式会社 (東証スタンダード市場:3772)
出資金額/ 出資比率	約66億円(全額HD手元資金) / 28.47%(議決権ベース)
買収完了 時期	2025年12月上旬～同下旬 ※株式取得完了により、ウェルス社は当社の関連会社となる見込み
売上高	184億円(2024年度)
AUM	約1,500億円
グループESR への影響	影響は軽微

ウェルス社の事業セグメント

不動産	✓ ホテル開発案件毎にファンド経由での資金調達 ✓ セキュリティ・トークンを通じた資金調達
ホテル運営	✓ ホテル運営サービスを提供 ✓ 受託運営やホテルへのコンサルティング等
アセット・ マネジメント	✓ 組成ファンドにおけるワンストップでのAMサービスを提供 ✓ 投資案件のアドバイザリーサービス提供

出資に関する戦略的意義

- ① ハイブランドホテル市場の成長性の取り込み
- ② 豊富なホテル運営機能の活用
- ③ グループの不動産ポートフォリオの改善・強化への寄与

グループEV

- ▶ グループEVは、DLが保有する国内株式の上昇等で前期末比+約9,100億円増の約9.1兆円

第一生命グループ

(億円)	25/3末	25/9末 (概算値)	増減
第一生命グループ	81,646	約90,700	約+9,100
修正純資産相当額	17,864	約18,000	約+200
保有契約価値相当額	63,782	約72,700	約+8,900

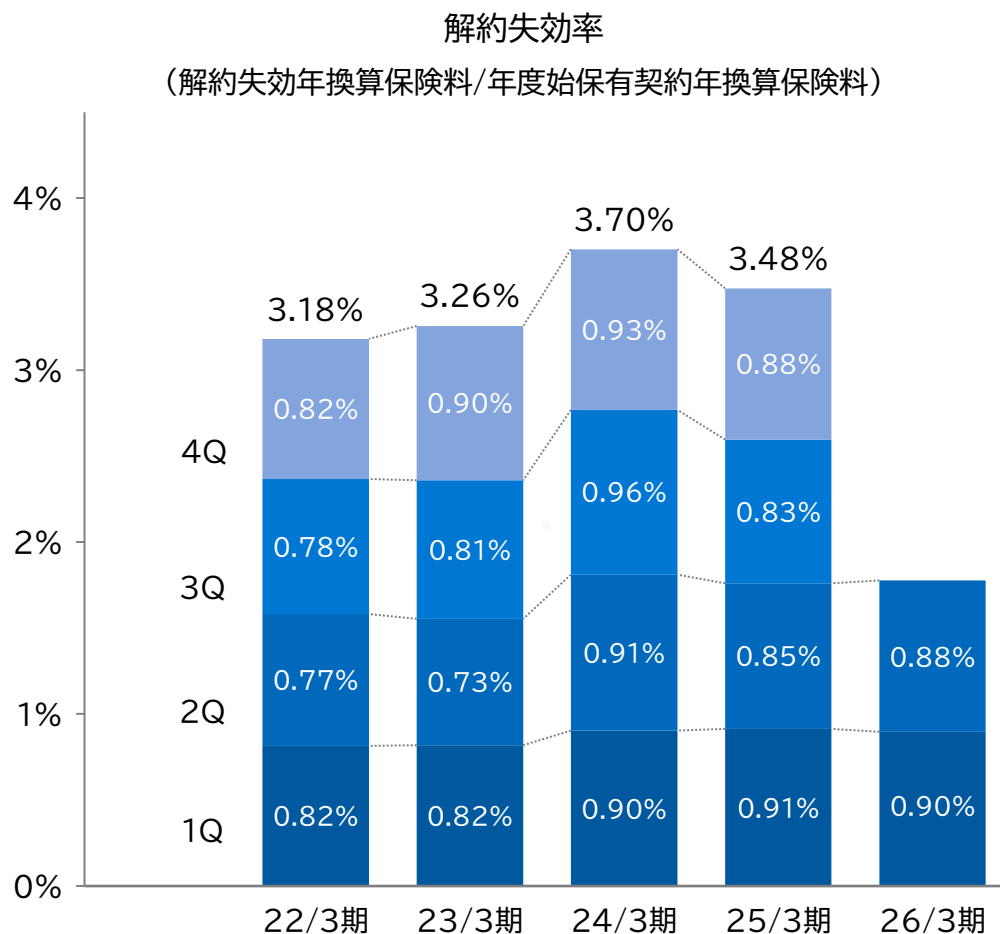
[参考] 現地通貨建

(億円)	25/3末	25/9末 (概算値)	増減	(億円)	24/12末	25/6末 (概算値)	増減	24/12末	25/6末 (概算値)	増減
DL	57,050	約62,100	約+5,100	米PLC	8,630	約9,400	約+700	5,456	約6,500	約+1,000
修正純資産相当額	18,951	約15,800	約△3,200	修正純資産相当額	△ 2,444	約△1,000	約+1,500	△ 1,545	約△700	約+900
保有契約価値相当額	38,099	約46,300	約+8,200	保有契約価値相当額	11,074	約10,300	約△700	7,001	約7,100	約+100
(億円)	25/3末	25/9末 (概算値)	増減	(億円)	25/3末	25/9末 (概算値)	増減	25/3末	25/9末 (概算値)	増減
DFL	8,889	約9,500	約+600	豪TAL	6,255	約6,800	約+600	6,656	約7,000	約+300
修正純資産相当額	2,441	約2,900	約+500	修正純資産相当額	1,786	約1,600	約△200	1,901	約1,600	約△300
保有契約価値相当額	6,448	約6,600	約+100	保有契約価値相当額	4,469	約5,300	約+800	4,756	約5,400	約+600

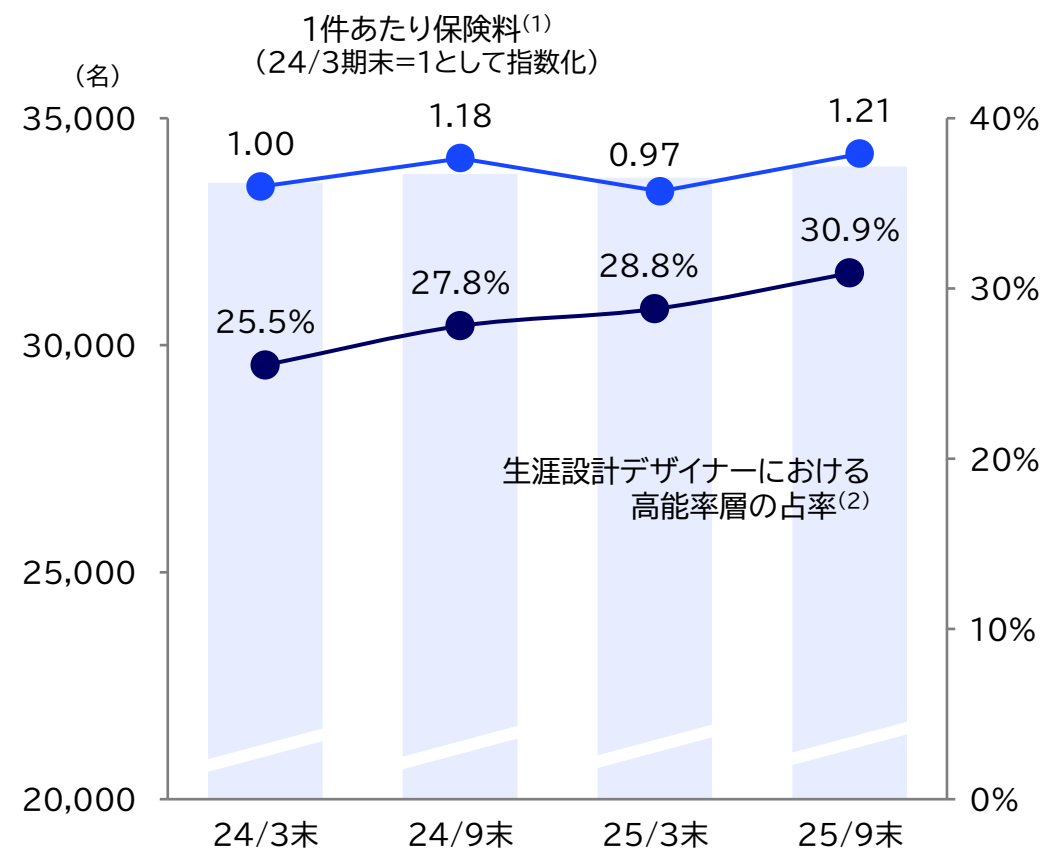
参考データ

【第一生命】 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



(1) 代理店チャネル除く
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合

■ [参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

【第一生命】資産運用の状況① – 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入⁽¹⁾の内訳

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	3,851	3,839	△ 12	△ 0%
公社債	1,376	1,508	+ 132	+ 10%
株式	402	397	△ 6	△ 1%
外国債券	541	421	△ 120	△ 22%
外国株式	488	565	+ 77	+ 16%
その他の証券	319	186	△ 133	△ 42%
貸付金	327	377	+ 50	+ 15%
不動産 ⁽³⁾	341	341	△ 0	△ 0%

[参考] 25/3期 有価証券運用利回り

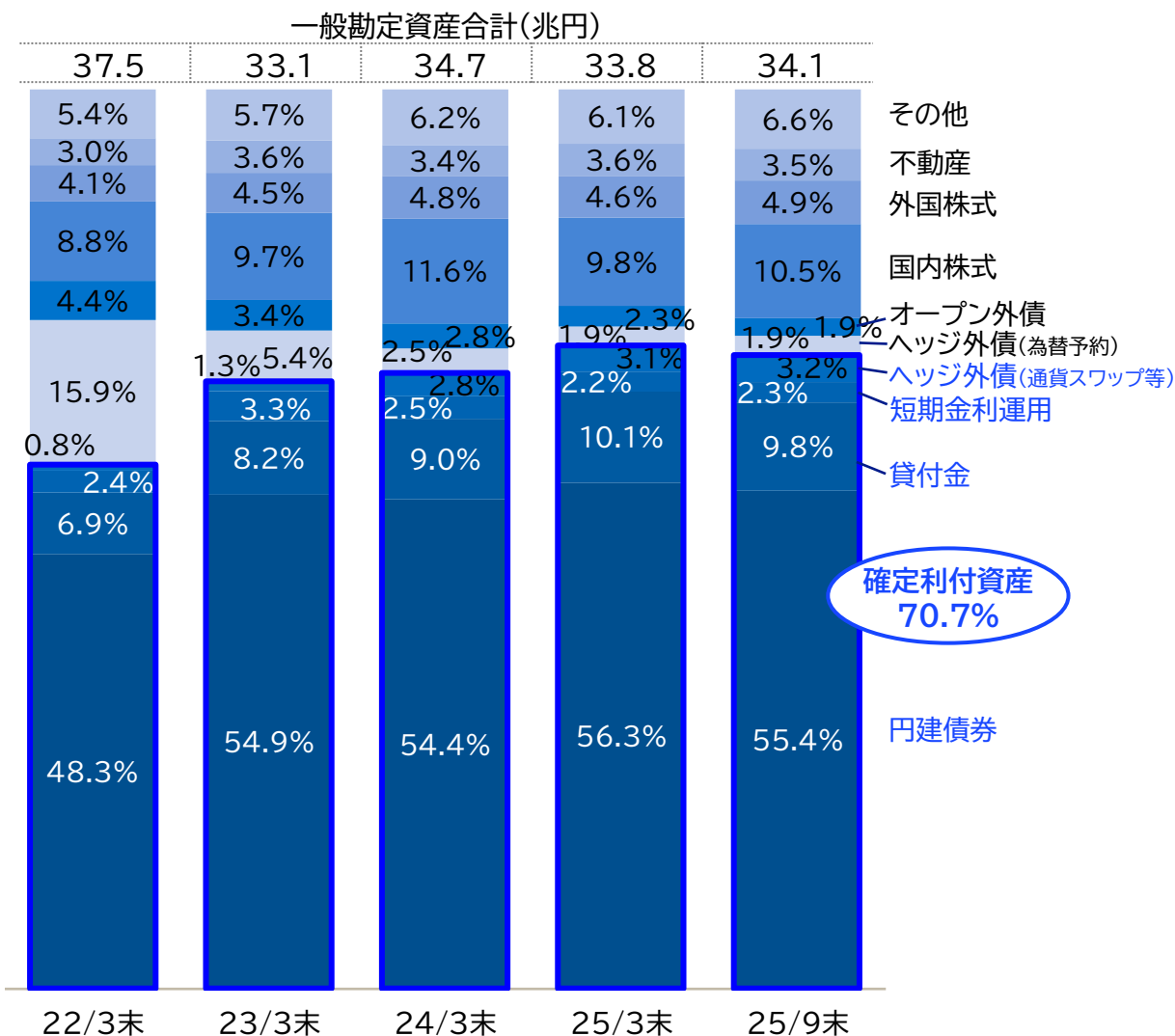
(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽²⁾
一般勘定計	7,703	315,279	2.44%
公社債	2,847	180,925	1.57%
株式	823	11,528	7.14%
外国債券	991	31,227	3.17%
外国株式	1,035	13,161	7.86%
その他の証券	533	12,119	4.40%
貸付金	681	31,778	2.14%
不動産 ⁽³⁾	682	8,955	7.62%

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

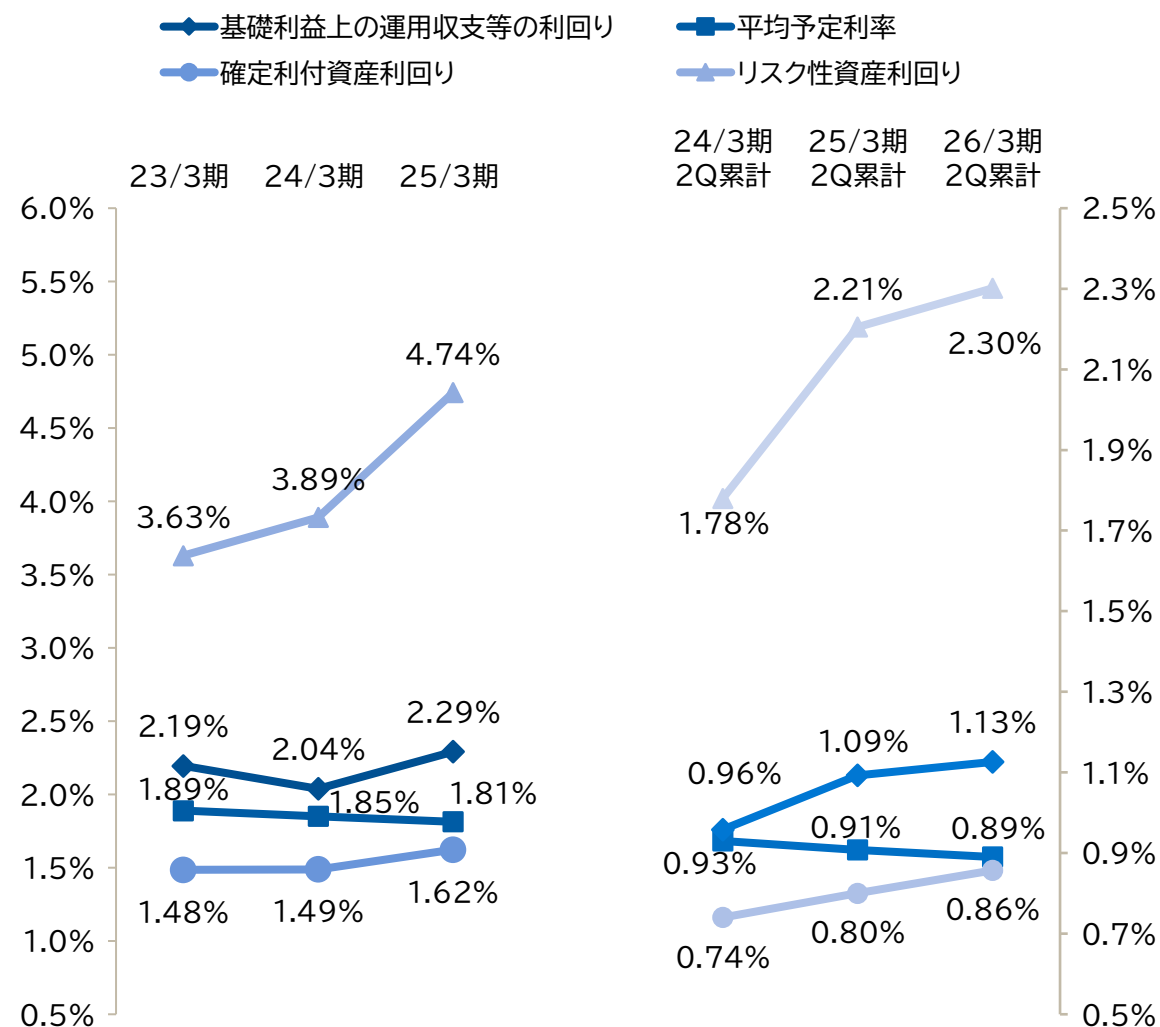
(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	3,132	2,639	△ 493	△ 16%
公社債	78	65	△ 13	△ 16%
株式	2,310	2,232	△ 78	△ 3%
外国債券	145	100	△ 45	△ 31%
外国株式	597	238	△ 359	△ 60%
その他	3	4	+ 1	+ 48%
有価証券売却損	2,125	1,174	△ 951	△ 45%
公社債	1,614	848	△ 766	△ 47%
株式	22	79	+ 57	+ 259%
外国債券	352	123	△ 229	△ 65%
外国株式	91	64	△ 27	△ 29%
その他	46	59	+ 13	+ 29%
有価証券売却損益	1,007	1,465	+ 458	+ 45%
有価証券評価損	36	64	+ 28	+ 78%
公社債	8	8	△ 0	△ 3%
株式	4	50	+ 45	+ 1,024%
外国債券	-	-	-	-
外国株式	7	2	△ 5	△ 72%
その他	16	4	△ 12	△ 74%

[第一生命] 資産運用の状況② – 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾⁽²⁾



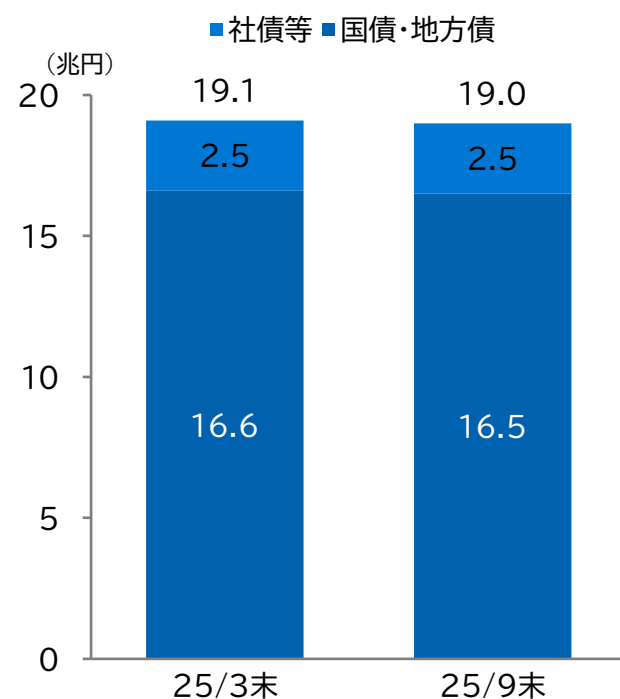
資産運用利回りと平均予定利率⁽³⁾



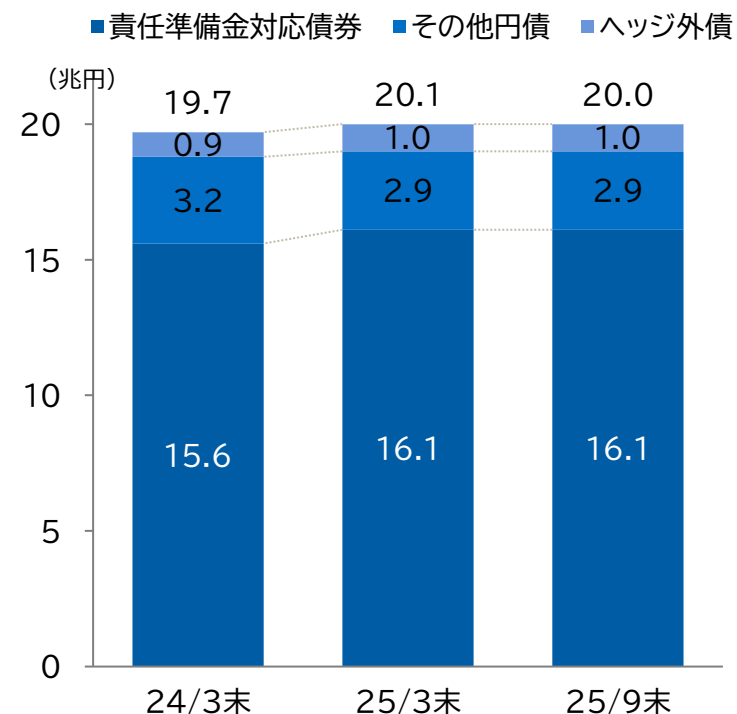
(1) 貸借対照表価額ベース (2) ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類
 (3) 各資産の利回りについては、資産毎の利息配当金収入(資本性配当金を除く)からヘッジコスト等を除いた金額を各資産の期間平均残高で除して算出

[第一生命] 資産運用の状況③ – 確定利付資産の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾

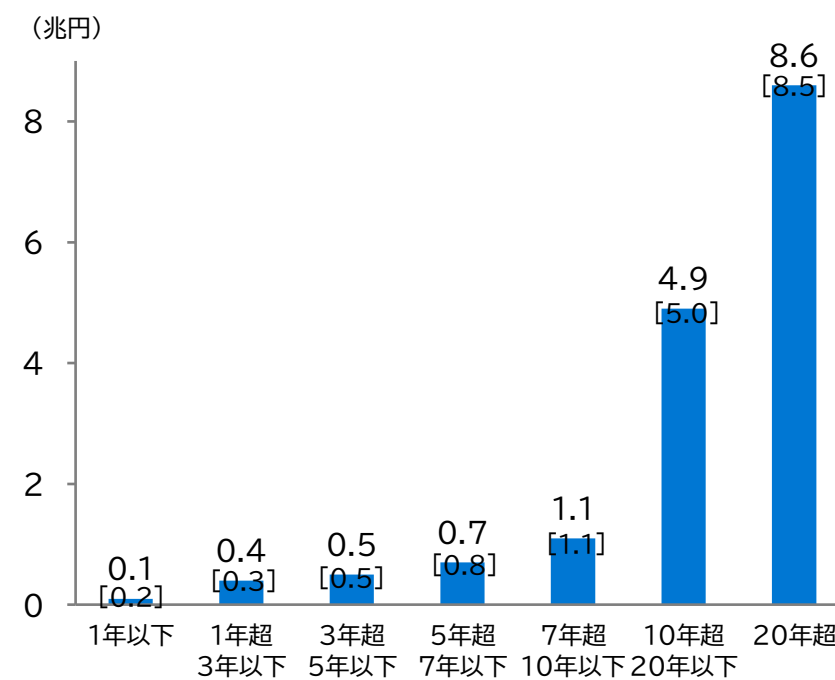


確定利付資産における債券積増し状況⁽¹⁾⁽²⁾



国債の残存期間別残高⁽³⁾ (25/9末)

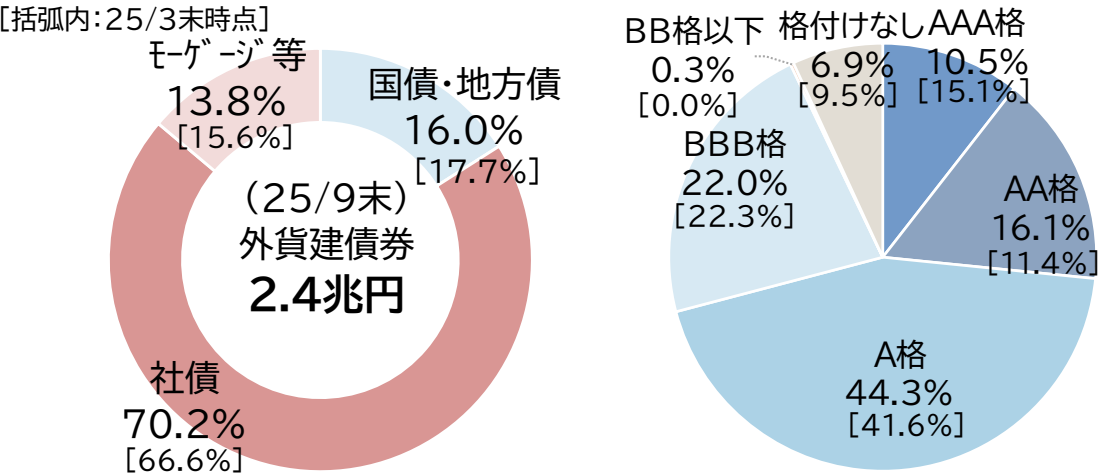
[括弧内: 25/3末時点]



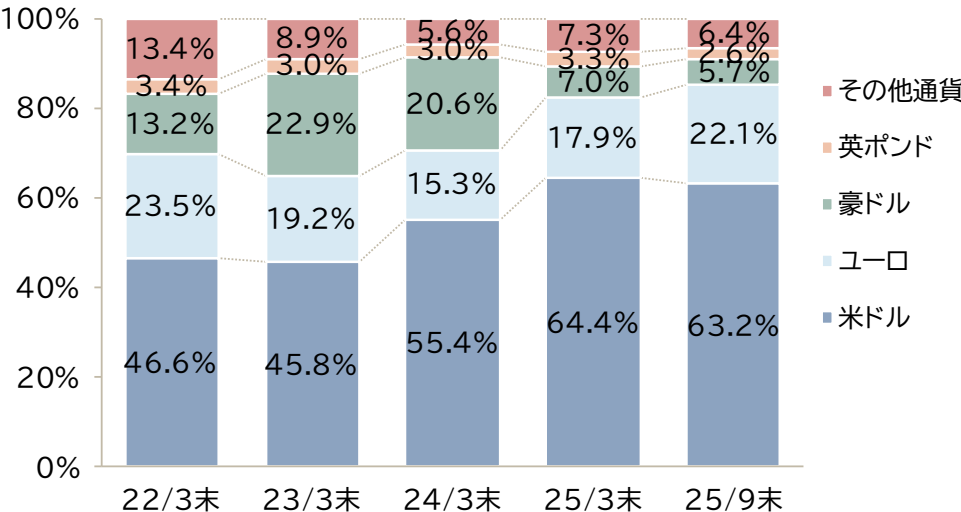
(1) 簿価ベース(2) 為替予約をヘッジ手段とする外国債券のうち、変動金利債についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類しております。(3) 貸借対照表価額ベース

[第一生命] 資産運用の状況④ – 外貨建債券の状況

外貨建債券の内訳⁽¹⁾⁽²⁾ (25/9末)

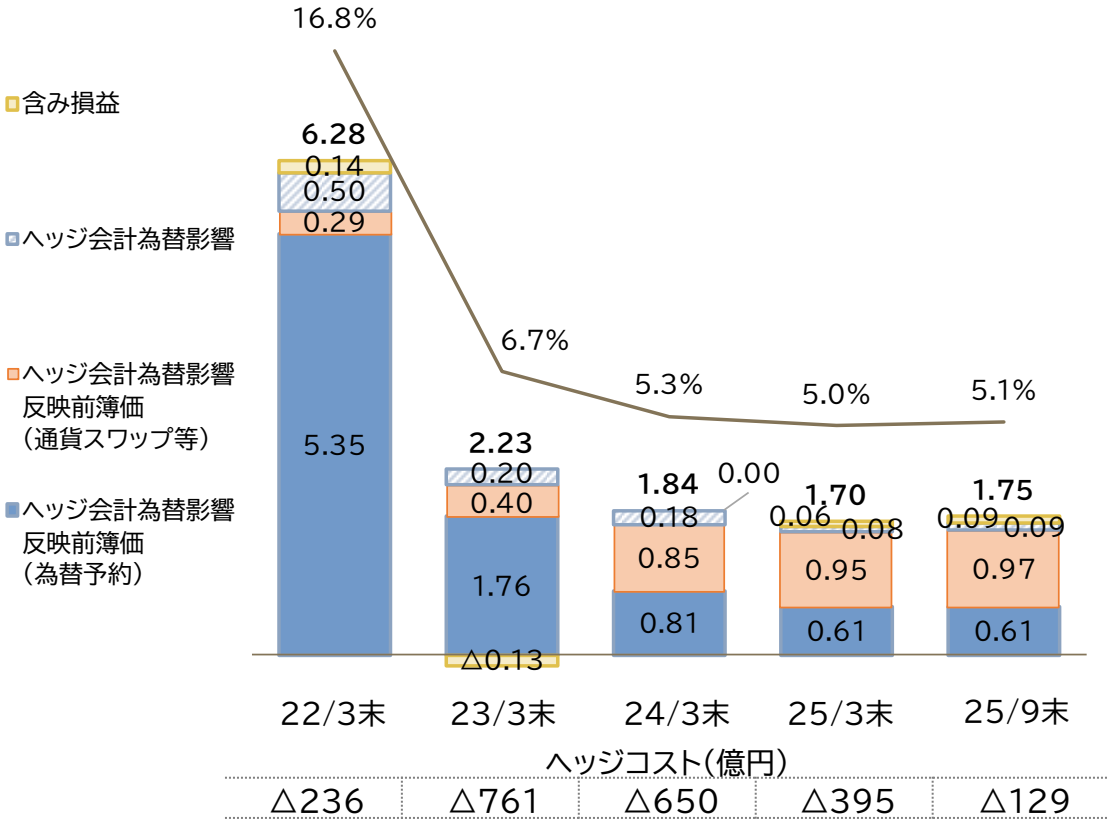


外貨建債券の通貨別構成⁽¹⁾



為替ヘッジ付外債残高詳細⁽¹⁾⁽³⁾

一般勘定における
資産占率
(貸借対照表価額)
(兆円)

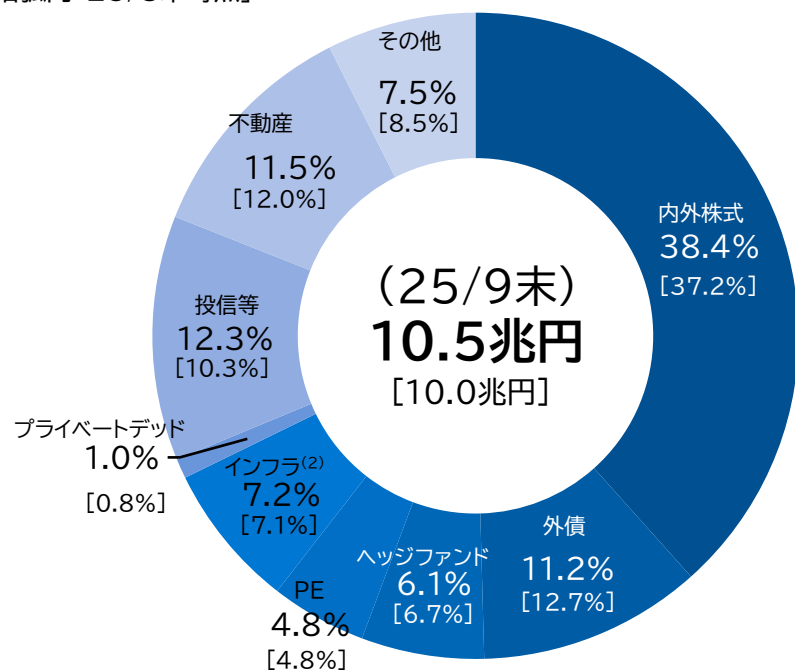


(1) 貸借対照表価額ベース (2) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く (3) ヘッジ外債(為替予約)のうち変動金利債券についてはヘッジ外債(通貨スワップ等)に分類

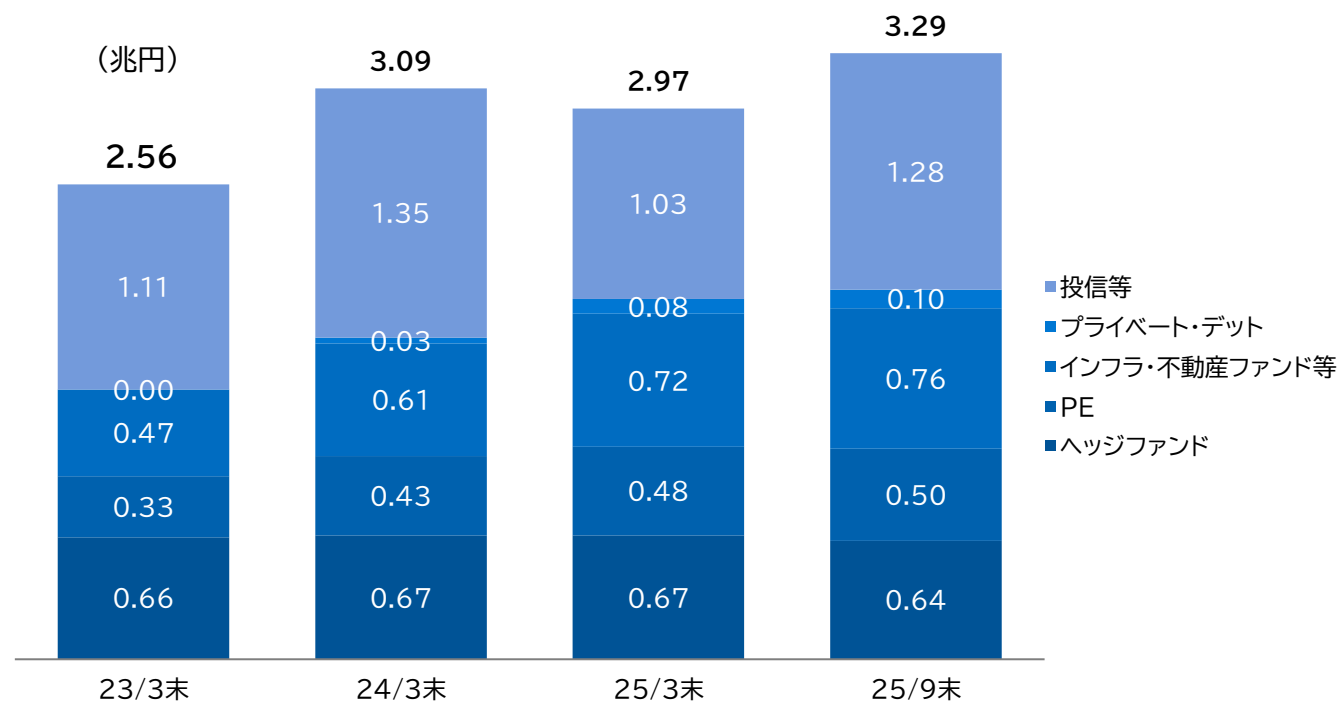
[第一生命] 資産運用の状況⑤ – リスク性資産の状況

リスク性資産等の内訳⁽¹⁾

[括弧内: 25/3末時点]



オルタナティブ資産の積増し状況⁽¹⁾



(1) 貸借対照表価額ベース (2) 不動産・インフラ等

[第一生命]資産運用の状況⑥ 含み損益

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	25/3末	25/9末	前期末比	(%)
有価証券	5,510	1,291	△ 4,219	△ 77%
国内債券	△ 20,452	△ 28,923	△ 8,472	-
うち責任準備金対応債券	△ 20,409	△ 28,589	△ 8,179	-
うちその他保有目的債券	△ 42	△ 335	△ 292	-
外国債券	673	1,003	+ 329	+ 49%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	585	872	+ 287	+ 49%
国内株式	22,402	25,618	+ 3,216	+ 14%
外国株式	2,357	2,923	+ 566	+ 24%
不動産	6,357	6,407	+ 50	+ 1%
一般勘定資産合計	10,217	5,795	△ 4,422	△ 43%

2025年
9月末時点

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

10年国債利回り10bpの変動で
2,200億円の増減※
(2025年3月末:2,400億円)
※その他有価証券区分:100億円の増減
(2025年3月末:100億円)

日経平均株価1,000円の変動で
700億円の増減
(2025年3月末:900億円)

ドル／円1円の変動で
130億円の増減
(2025年3月末:130億円)

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

10年国債利回り 0.3%※
(2025年3月末:0.7%)
※その他有価証券区分:1.4%
(2025年3月末:1.5%)

日経平均株価 ¥12,200
(2025年3月末:¥11,200)

ドル／円 \$1 = ¥131
(2025年3月末:¥132)

国内
債券

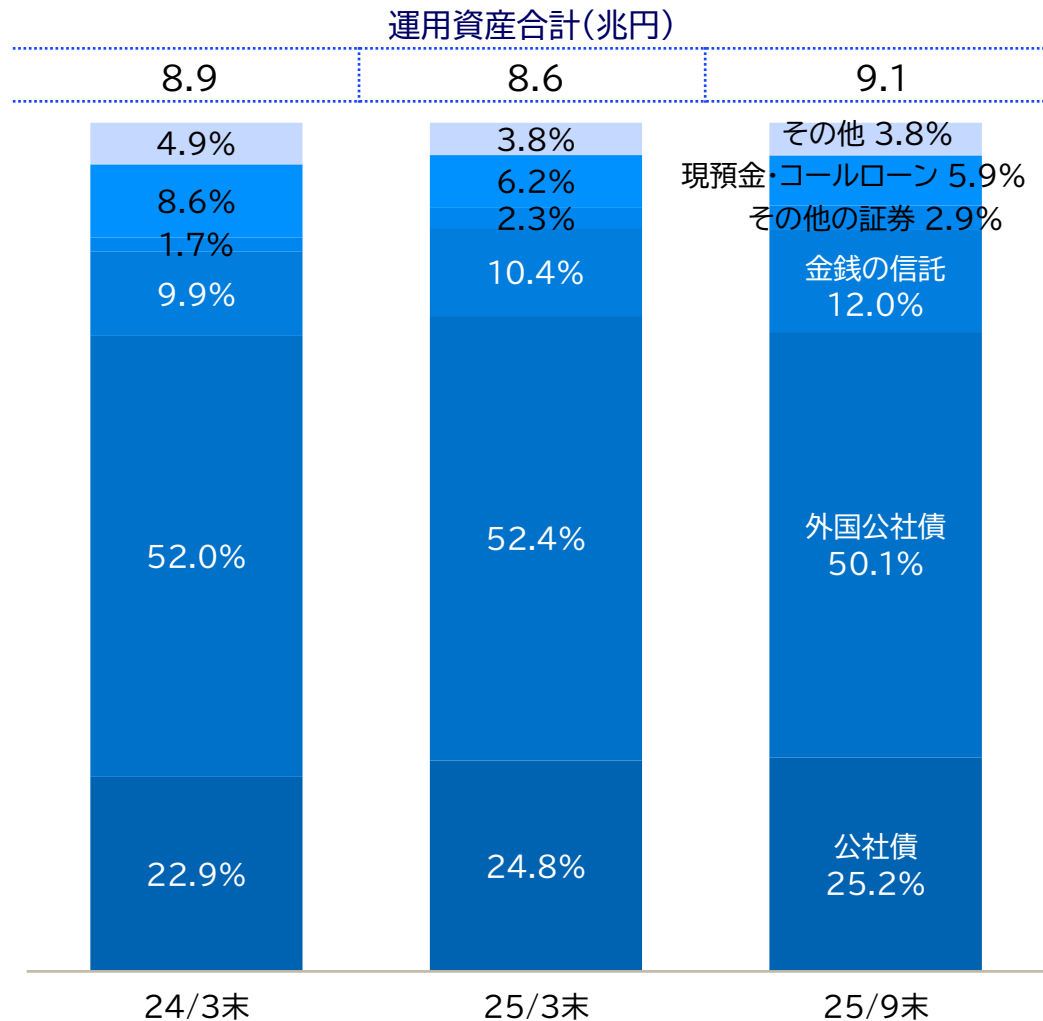
国内
株式

外国
証券

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 – 運用資産構成

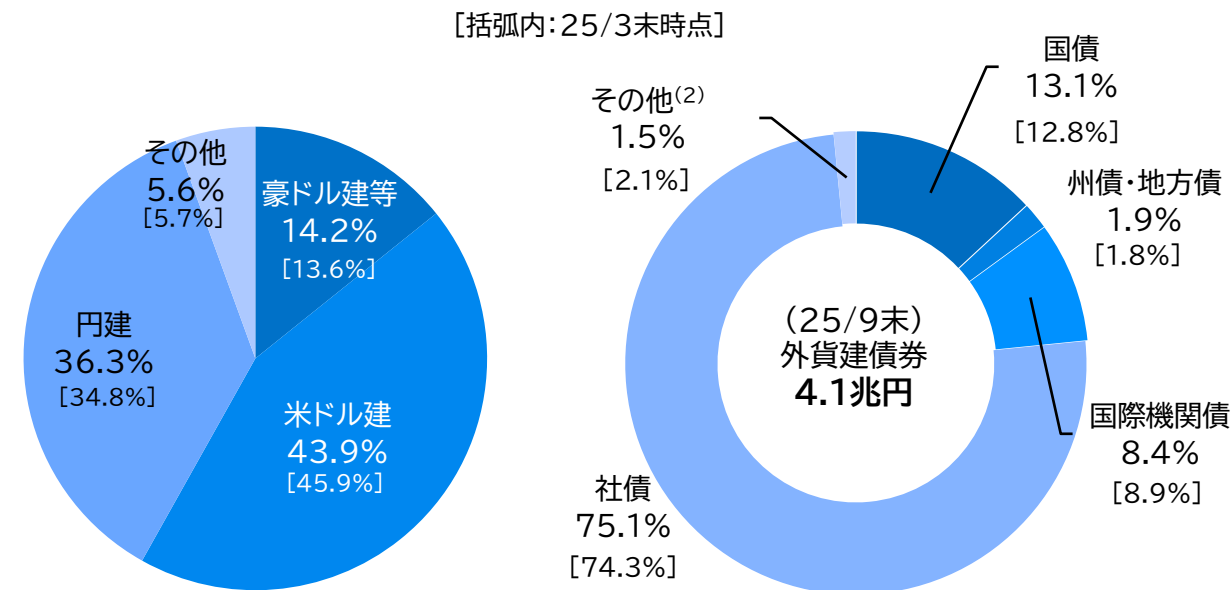
運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾



保有目的区分別有価証券の状況 (25/9末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	46,872	43,977	△ 2,895
その他有価証券	28,428	28,199	△ 229
公社債	5,419	5,263	△ 157
外国証券	16,848	16,767	△ 82
その他の証券	2,597	2,610	+ 13

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

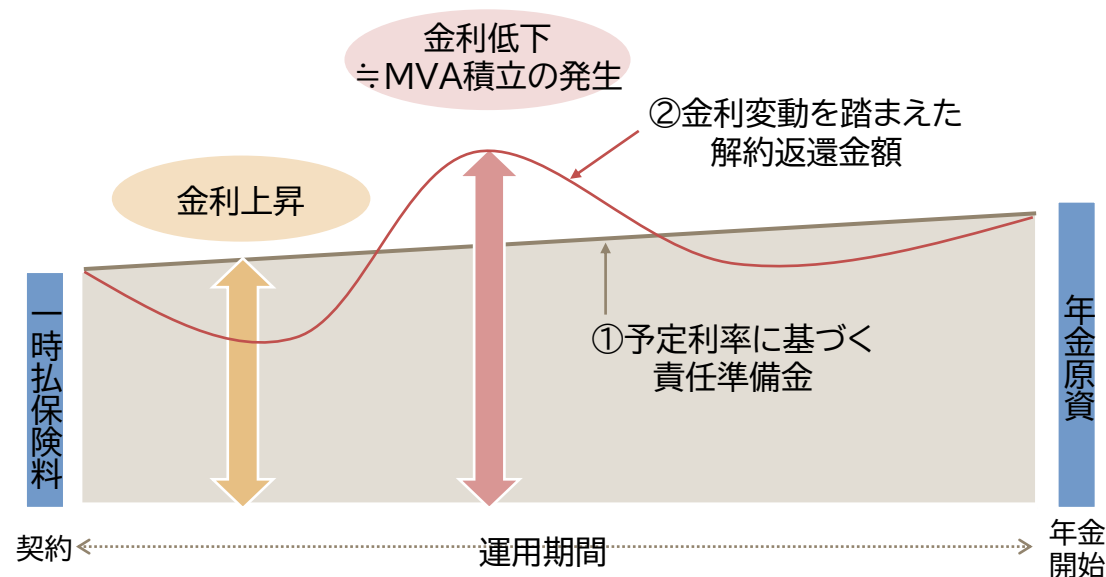


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含む

[参考] MVA(市場価格調整)関連損益について

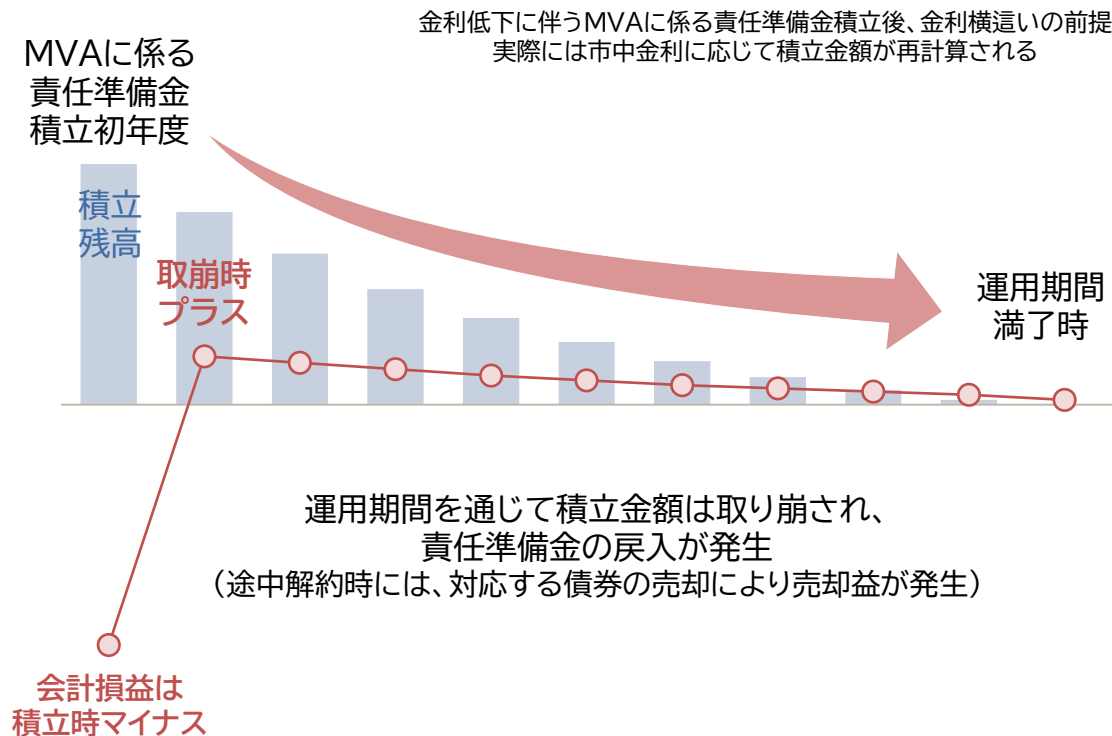
- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



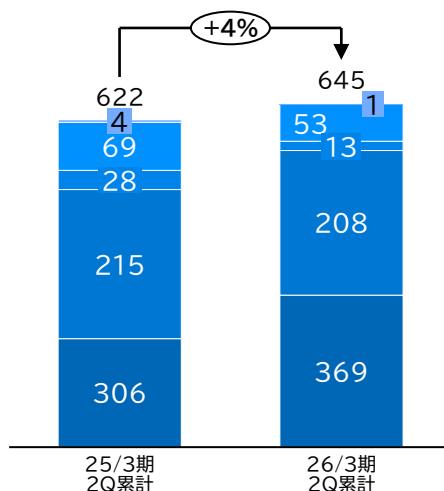
各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により②>①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



【海外保険事業】 修正利益、米プロテクティブ・豪TALのセグメント別営業業績等

海外保険事業 修正利益合計



■ PLC ■ DLVN
■ TAL ■ 他子関連
■ PNZ

※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・PDLの4社

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減(%)
PLC ⁽¹⁾	306	369	+ 20%
TAL	215	208	△ 3%
PNZ	28	13	△ 53%
DLVN ⁽¹⁾	69	53	△ 23%
他子関連 ⁽¹⁾	4	1	△ 66%
	622	645	+ 4%

米プロテクティブ 営業業績等

(百万米ドル)	24/12期 2Q累計	25/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
リテール保険&年金事業	3,628	3,244	△ 385	△ 11%
伝統的保険	113	118	+ 5	+ 4%
ユニバーサル保険	59	46	△ 13	△ 22%
BOLI/COLI ⁽²⁾	510	438	△ 73	△ 14%
定額年金	2,389	2,021	△ 368	△ 15%
変額年金	557	621	+ 65	+ 12%

アセットプロテクション事業	458	458	+ 0	+ 0%
スーパバリュー残高(年度始)⁽³⁾	12,410	13,150	+ 739	+ 6%
調達	2,633	2,294	△ 339	
償還	△ 2,472	△ 2,496	△ 24	
その他	232	360	+ 127	
残高(2Q末)	12,804	13,308	+ 504	+ 4%

豪TAL 営業業績

(百万豪ドル)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
新契約年換算保険料	428	96	△ 332	△ 78%
(TAL) 個人保険	44	50	+ 6	+ 13%
団体保険	383	46	△ 336	△ 88%
TLIS (旧Westpac Life) ⁽⁵⁾	1	-	-	-

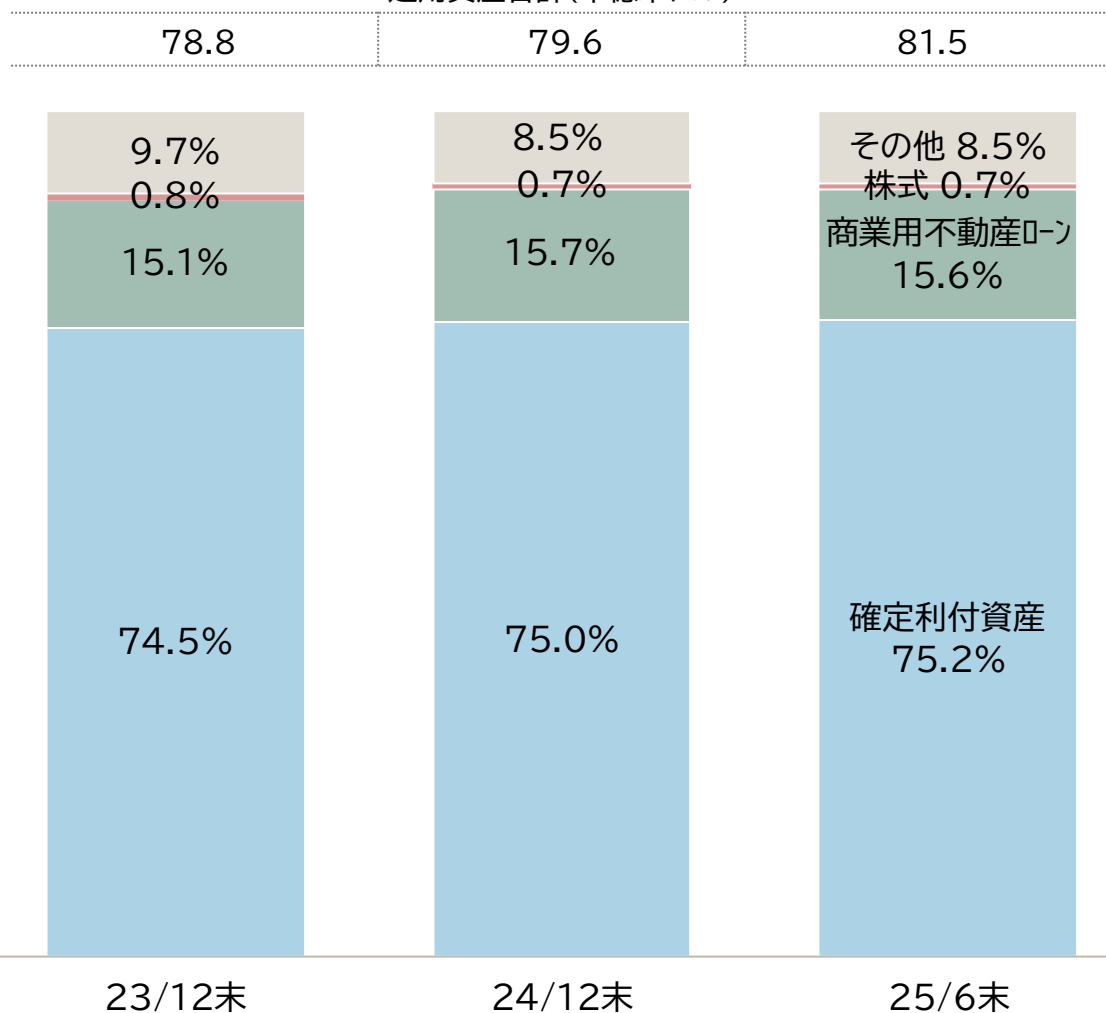
既契約増減⁽⁴⁾	134	273	+ 139	+ 104%
(TAL) 個人保険	131	191	+ 61	+ 46%
団体保険	△ 79	81	+ 160	-
TLIS (旧Westpac Life) ⁽⁵⁾	82	-	-	-

- (1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDLの5社
 (2) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を役員・従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険
 (3) 24/12期より、スーパバリューは営業業績から残高の表示に変更
 (4) 既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す(TLISブロックの統合を含む)
 (5) TLISブロックは26/3期よりTALに統合

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 – 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) (1)

運用資産合計(十億米ドル)

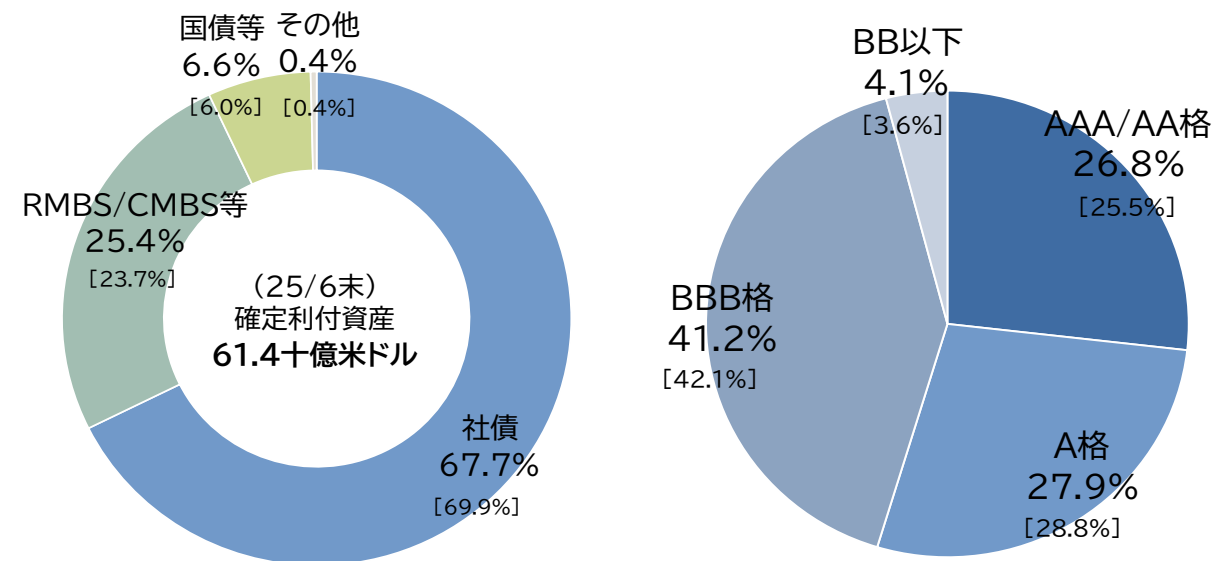


商業用不動産ローンの状況

(百万米ドル)	24/12末	25/6末	増減
商業用不動産ローン(引当前)	12,611	12,787	+ 176
不良債権	55	50	△ 5
貸倒引当金	101	100	△ 1
(対ローン残高)	0.8%	0.8%	△ 0.0%pt

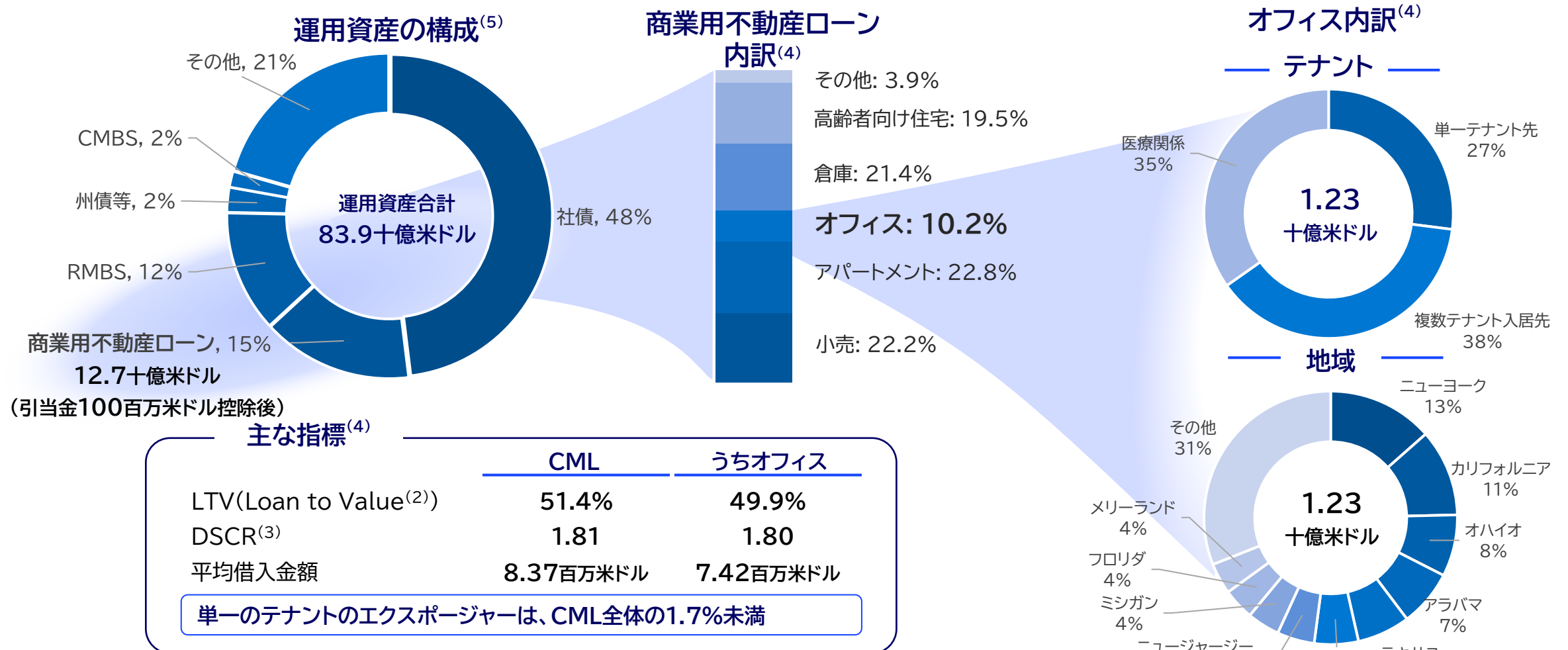
確定利付資産の内訳および格付構成 (25/6末)

[括弧内: 24/12末時点]



[参考] [米プロテクティブ] 商業用不動産ローンの状況（2025年9月時点）

- ▶ PLCにおける商業用不動産ローン(CML)への投資において、オフィスの占率は相対的に低い状況で、テナント種別や地域の分散を効かせることで、リスク分散を図っている(PLCのオフィス占率は10.2%である一方、同業他社⁽¹⁾は平均18%)
- ▶ オフィス区分における今後3年間の償還予定の残高は44%程度



(1) 出所: Fitch report on US Life Insurers Commercial Mortgages, May 16, 2025 (2) 総資産有利子負債比率: 不動産評価額に対する借入金割合
(3) Debt Service Coverage Ratio: キャッシュフロー対比での元金返済額の倍率 (4) 修正共同保険式再保険(Modco)に関わる資産は除く (5) 修正共同保険式再保険(Modco)に関わる資産を含む

グループ修正利益の組替え

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
当期純利益(損失)	2,332	2,096	△ 236	△ 10%
危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	-	-	-	
MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	△ 26	△ 20	+ 6	
のれん等償却額	135	191	+ 56	
経済実態と乖離した評価性損益等(PLC)	△ 18	107	+ 125	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動等(TAL)	△ 10	△ 37	△ 27	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動(PNZ)	5	3	△ 1	
資産負債評価に係る調整(DLRB)	33	51	+ 19	
その他	3	△ 81	△ 84	
グループ修正利益	2,452	2,311	△ 142	△ 6%

PLCの調整項目	(億円)
債券評価損・株式評価損益等	+43
商業用不動産ローン貸倒引当金増減	+0
修正共同保険式再保険に関する損益	+140
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△27
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動	△15
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△14
上記に係る税	△21
調整額	+107

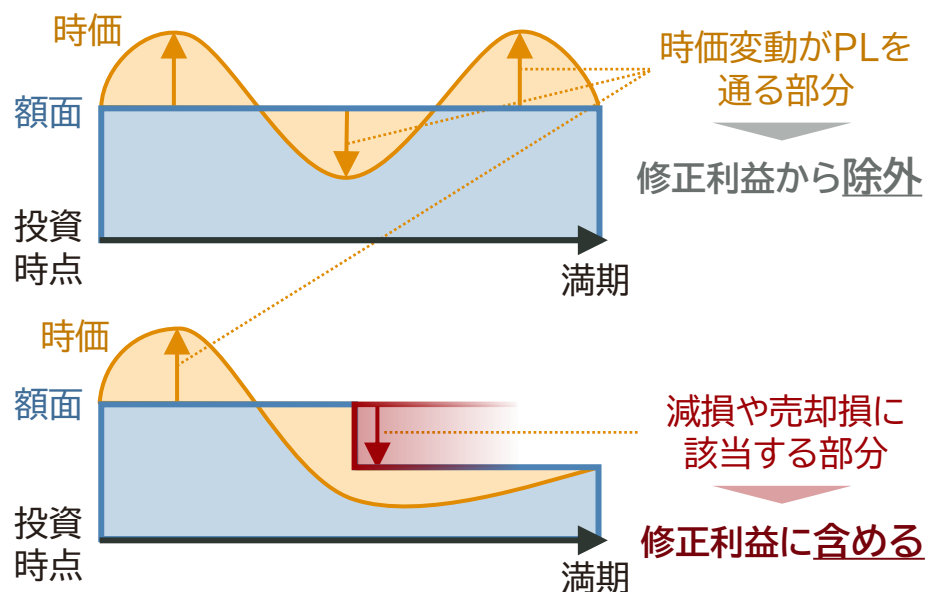
うち DMRE持分変動益 △87

[参考] 修正利益の算出方法の一部変更

- ▶ プロテクティブ、TAL、パートナーズ・ライフの修正利益について、2024年度より会計上の評価損益を修正利益から除くことで、修正利益本来の目的に沿うとともに利益の安定性や還元の予見性の向上につながる
- ▶ なお、配当計算のベースとなる3年間の修正利益について、2023年度以前の分の遡及修正は行わない

プロテクティブのケース

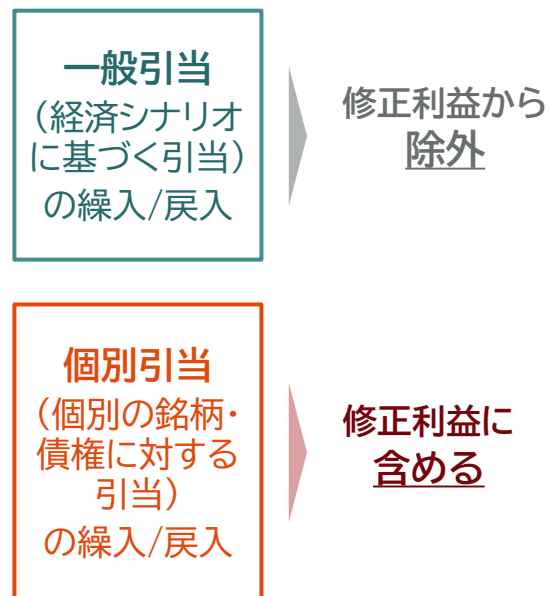
運用やヘッジに係る損益のイメージ



時価変動部分が修正利益から除外される対象項目

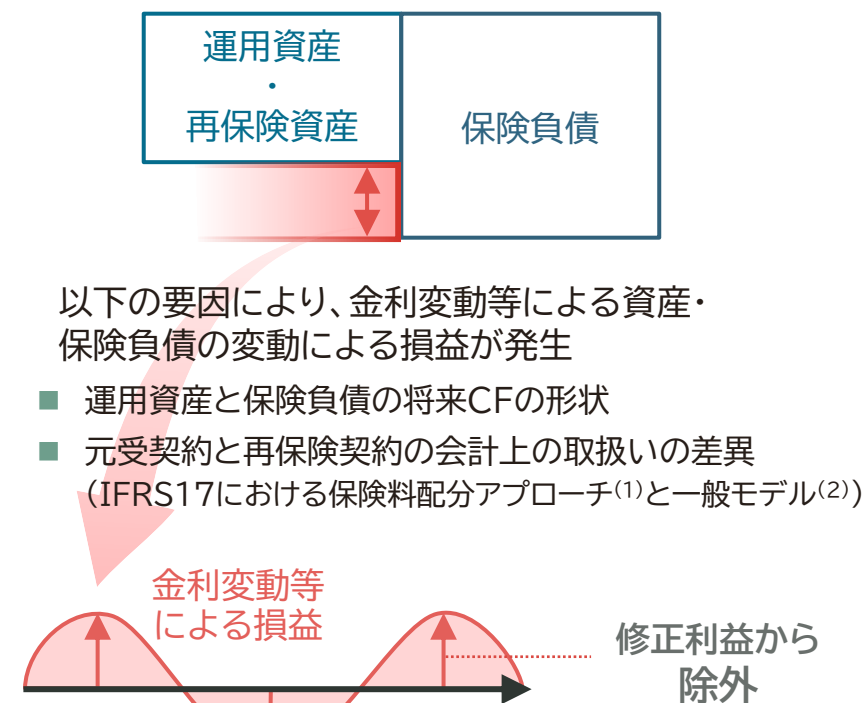
優先株評価損益、修正共同保険式再保険 (Modco) 関連損益、ICOLI 損益、
最低保証関連損益 (ヘッジ対象とヘッジ手段の双方)、それらに伴う DAC 償却の変動等

予想信用損失 (CECL)



TAL、パートナーズ・ライフのケース

金利変動等に伴う資産・保険負債の変動



(1) Premium Allocation Approach (2) General Measurement Model

[参考] 修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
第一フロンティア生命・プロテクト: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	21/3期	22/3期	23/3期 ⁽²⁾	24/3期	25/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.9%	8.0%	4.9%	8.2%	10.7%
分子(修正利益)	2,828	2,961	1,706	3,194	4,395
分母(年度始・年度末平均)	31,724	37,146	34,518	38,871	41,169
分母(年度末)	36,848	37,445	33,572	44,170	38,844
[分母算出]					
純資産	48,062	44,078	26,613	38,819	34,694
(-) のれん	427	562	1,172	1,152	3,284
(-) 確定利付資産含み損益	12,006	6,287	△ 8,123	△ 6,489	△ 7,426
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	1,219	216	9	14	8
修正ROE用純資産	36,848	37,445	33,572	44,170	38,844
うち株主資本	18,936	19,963	17,538	18,721	20,146
第一生命 修正ROE	8.4%	8.2%	7.3%	8.2%	11.3%
分子(修正利益)	1,745	1,998	1,656	2,039	2,871
分母(年度始・年度末平均)	20,772	24,506	22,642	24,972	25,478
分母(年度末)	25,044	23,968	21,315	28,628	23,003
[分母算出]					
純資産	31,903	27,570	21,000	28,980	23,468
(-) 確定利付資産含み損益	6,859	3,602	△ 315	352	465
修正ROE用純資産	25,044	23,968	21,315	28,628	23,003
うち株主資本	6,792	6,316	5,837	5,526	5,812

グループ修正利益の定義



【調整①】 [危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額 等
(法定超過分、税後)]
加えて海外子会社・関連会社の内部留保があれば状況に応じて調整

【調整②】 [MVA (市場価格調整) 関連損益(税後) 等]
実質的でない会計上の評価損益を調整

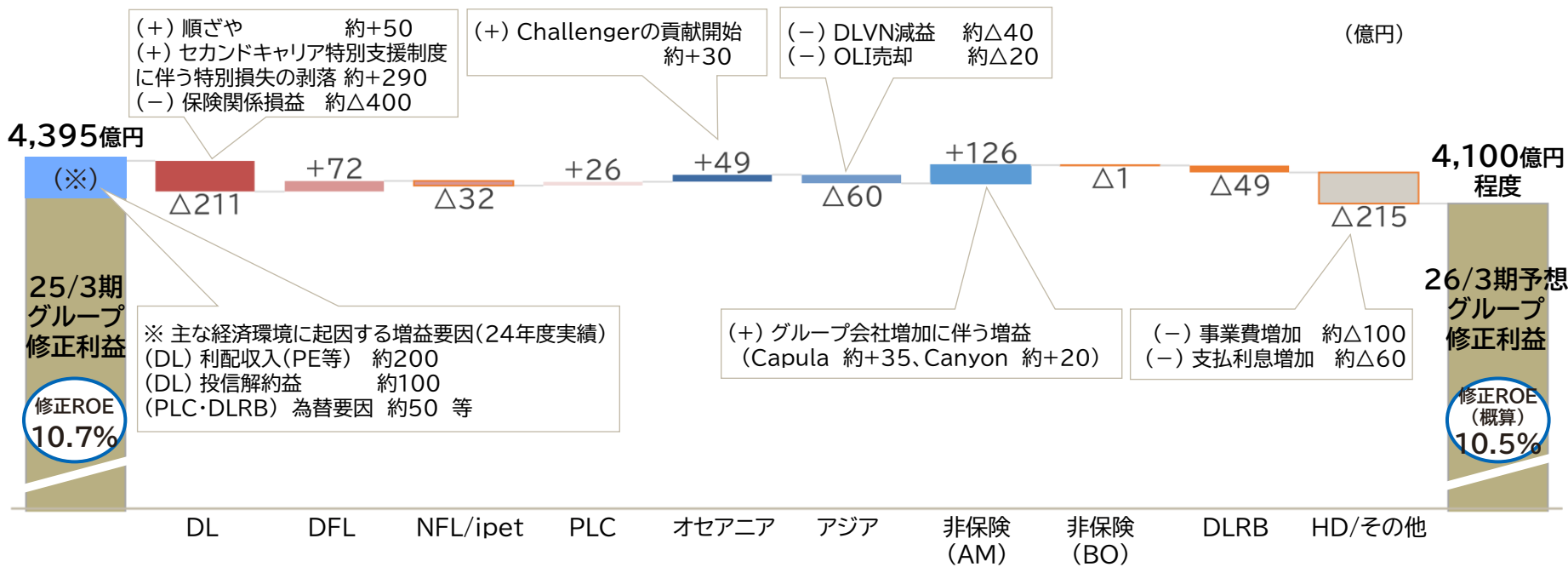
【調整③】 [のれん償却、段階取得損益、持分変動損益 等]
各社連結手続き上の組織再編関連損益やのれん償却等を調整

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益と定義
(2) TAL・PNZがIFRS17を適用したことに伴い、23/3期の数値についてIFRS17ベースに遡及修正(グループ連結についても遡及修正を反映)

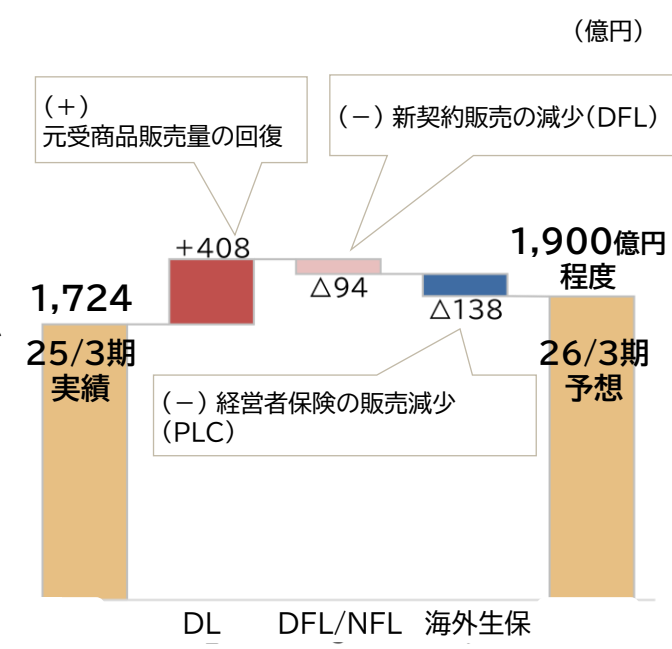
[再掲] 2026年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

- ▶ DLで、前期の経済環境要因の利配収入が剥落するほか、保険関係損益の減少に伴い減益を見込むが、DFLやオセアニア等の着実な増益により一部を相殺。また、非保険事業におけるアセットマネジメント事業では、近年の戦略投資案件からの早期の利益貢献が見込まれ、2025年度のグループ修正利益は2024年度に続き4,000億円を超える4,100億円を見込む。ROEも2024年度に続いて10%を上回る見通し
- ▶ グループ新契約価値は、販売量の減少が見込まれるDFL・PLCで減少する一方で、新商品の投入により元受商品の販売拡大を見込むDLで前期より増加を見込むことから、グループ全体の予想は1,900億円程度

グループ修正利益予想・前期比変動要因



グループ新契約価値予想・前期比変動要因



[再掲] 株主還元(グループ修正利益の通期見通しの上方修正に伴い一部アップデート)

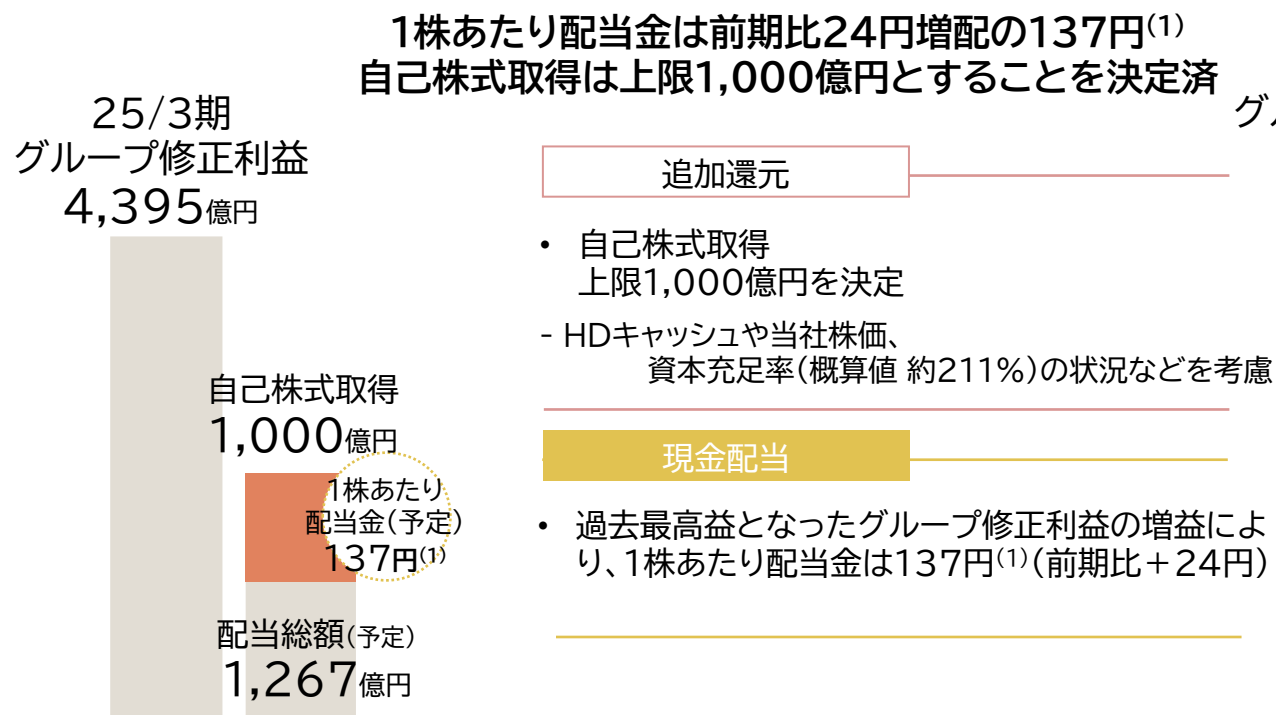
※今回の更新箇所は赤字

- ▶ 25/3期の株主還元は、1株あたり配当金(DPS)137円⁽¹⁾(修正予想対比+4円・期初予想対比+15円)を決定⁽²⁾。
追加還元として、資本効率改善に対する確度を高めること等を目的に、引き続き上限1,000億円とする自己株式取得を決定
- ▶ 26/3期の1株あたり配当金は、資本効率の改善に向けた取組みが着実に進展していることを踏まえ、配当性向の45%への引上げを前提とし、25/3期の増益や計算前提となる3年平均利益の増加に伴い、大幅増配となる51円(株式分割前:204円)を予想

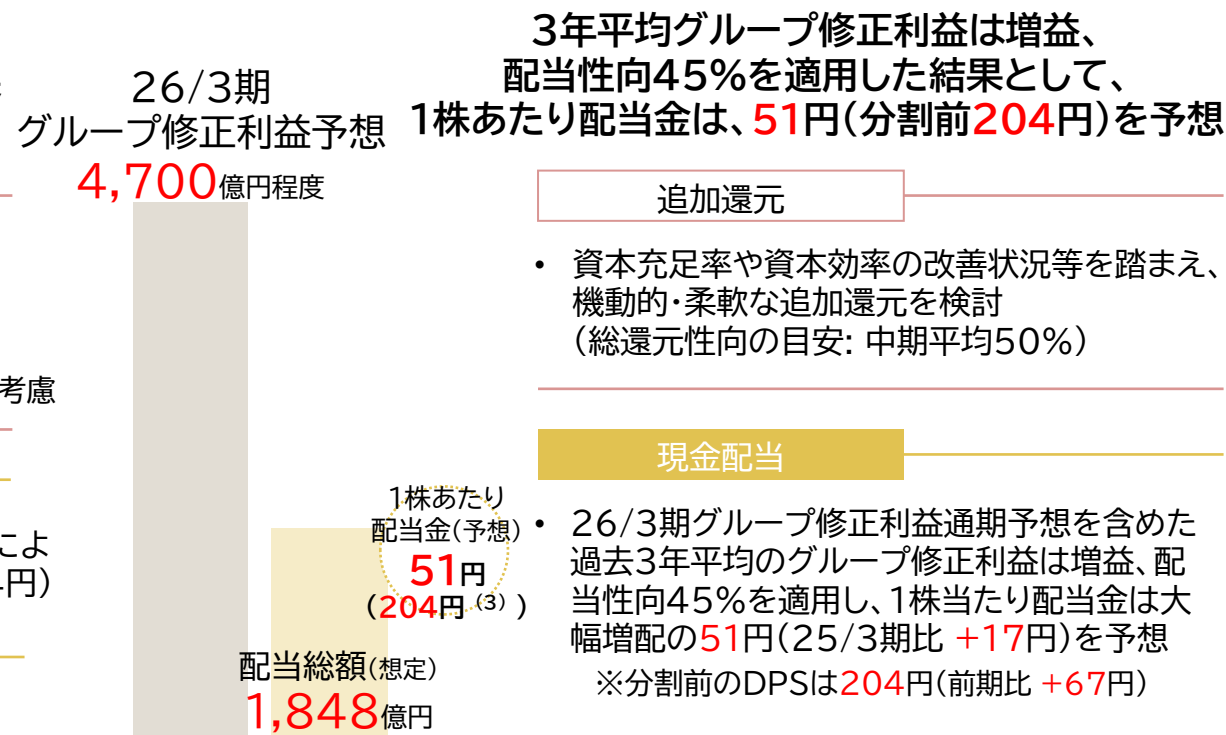
株主還元

〔自己株式消却方針〕 用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

25/3期 株主還元



26/3期 株主還元(予想)



(1) 2025年3月期の期末配当については、2025/4/1を効力発生日として実施した株式分割を実施する前の株式数を基準とした金額 (2)6月の株主総会での決議を経て確定

(3) 括弧内は株式分割前の配当金

[再掲] 株主還元方針(グループ修正利益の通期見通しの上方修正に伴い一部アップデート)

※今回の更新箇所は赤字・下線

株主還元方針

機動的・柔軟な
追加還元の検討
(21/3期より)

- 総還元性向の目安
中期平均 50%

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

[自己株式消却方針]
用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、
用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、
適切な時期に自己株式の消却を行います

総還元性向の
推移イメージ

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

+

[配当性向の推移イメージ]

利益に応じた
安定配当
(26/3期より)

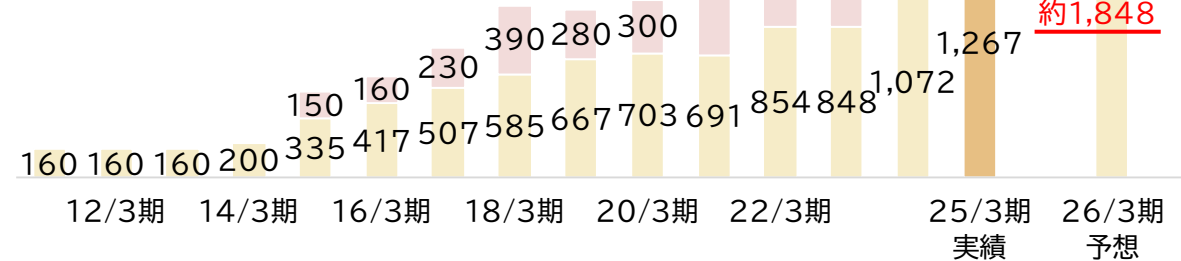
[配当性向] 每期 **45%以上**

- グループ修正利益過去3年平均をベース
- 1株あたり配当の減配は原則行わない

株主還元の推移

- 自己株式取得
- 配当総額

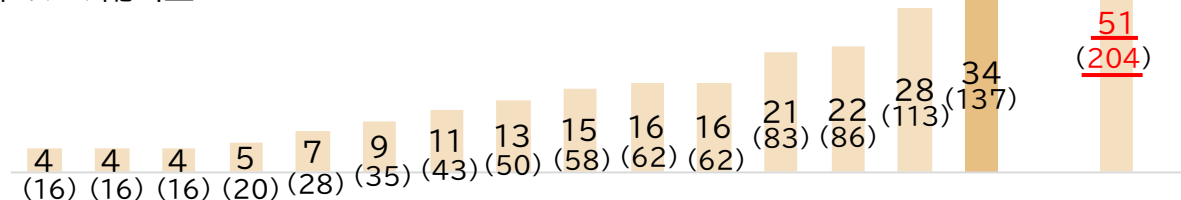
(億円)



グループ修正利益 ⁽²⁾	2,745	2,828	2,961	1,844	3,193	4,395		4,700
過去3年平均								4,096

(円/株)

- 1株あたり配当金⁽³⁾



(1) 2025年5月15日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) TAL・PNZでは24/3期1QからIFRS17を適用しているが、配当計算上のベースとなるグループ修正利益過去3年平均の算出において、過年度数値の遡及適用は行わない。24/3期以前のグループ修正利益は切り捨て、25/3期以降は四捨五入 (3) 数値は、株式分割(4分割)後の配当金(25/3期以前は、株式分割を考慮した換算額)。括弧内は、株式分割前の配当金(25/3期以前は実績、26/3期は換算額)

第一生命グループ – 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減
経常収益	51,912	51,196	△ 716
保険料等収入	35,966	33,311	△ 2,656
資産運用収益	13,408	14,771	+ 1,362
利息・配当金等収入	7,876	7,734	△ 143
有価証券売却益	3,138	2,697	△ 441
金融派生商品収益	259	-	△ 259
為替差益	-	9	+ 9
特別勘定資産運用益	129	782	+ 653
その他経常収益	2,538	3,115	+ 577
経常費用	48,191	47,762	△ 429
保険金等支払金	34,246	29,540	△ 4,707
責任準備金等繰入額	1,233	8,735	+ 7,502
資産運用費用	6,101	2,791	△ 3,310
有価証券売却損	2,526	1,449	△ 1,077
有価証券評価損	60	75	+ 15
金融派生商品費用	-	355	+ 355
為替差損	2,633	-	△ 2,633
事業費	4,963	4,949	△ 14
経常利益(△は損失)	3,721	3,434	△ 287
特別利益	18	118	+ 99
特別損失	152	126	△ 26
契約者配当準備金繰入額	425	476	+ 51
税金等調整前中間純利益(△は損失)	3,162	2,949	△ 213
法人税等合計	830	853	+ 23
非支配株主に帰属する中間純利益(△は損失)	-	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益(△は損失)	2,332	2,096	△ 236

連結貸借対照表

(億円)	25/3末	25/9末	増減
資産の部合計	695,930	703,444	+ 7,514
現預金・コール	24,557	24,709	+ 152
買入金銭債権	2,072	1,856	△ 216
有価証券	530,339	533,513	+ 3,174
貸付金	51,309	48,934	△ 2,375
有形固定資産	12,732	12,693	△ 39
繰延税金資産	1,710	1,492	△ 218
負債の部合計	661,233	664,830	+ 3,597
保険契約準備金	595,662	586,476	△ 9,186
責任準備金	577,019	567,828	△ 9,191
短期社債	419	564	+ 145
社債	11,531	11,314	△ 217
その他負債	43,795	46,688	+ 2,893
退職給付に係る負債	1,579	1,554	△ 25
価格変動準備金	3,422	3,513	+ 91
繰延税金負債	977	2,090	+ 1,113
純資産の部合計	34,697	38,614	+ 3,916
株主資本合計	20,146	21,634	+ 1,487
その他の包括利益累計額合計	14,548	16,978	+ 2,430
その他有価証券評価差額金	10,545	14,551	+ 4,006
土地再評価差額金	490	518	+ 28

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

損益計算書

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減
経常収益	20,457	20,730	+ 274
保険料等収入	10,745	11,375	+ 629
資産運用収益	7,255	7,298	+ 43
利息・配当金等収入	3,851	3,839	△ 12
有価証券売却益	3,132	2,639	△ 493
特別勘定資産運用益	130	715	+ 586
その他経常収益	2,456	2,058	△ 398
経常費用	17,887	17,990	+ 103
保険金等支払金	11,552	12,421	+ 869
責任準備金等繰入額	42	43	+ 1
資産運用費用	3,080	2,276	△ 805
有価証券売却損	2,125	1,174	△ 951
有価証券評価損	36	64	+ 28
金融派生商品費用	8	337	+ 329
為替差損	398	14	△ 383
事業費	2,039	2,070	+ 31
その他経常費用	1,174	1,179	+ 6
減価償却費	218	212	△ 5
経常利益(△は損失)	2,569	2,740	+ 171
特別利益	15	29	+ 14
特別損失	115	94	△ 22
契約者配当準備金繰入額	425	476	+ 51
税引前中間純利益(△は損失)	2,044	2,199	+ 156
法人税等合計	565	614	+ 49
中間純利益(△は損失)	1,479	1,586	+ 107

貸借対照表

(億円)	25/3末	25/9末	増減
資産の部合計	351,368	354,569	+ 3,201
現預金・コール	7,734	8,002	+ 268
買入金銭債権	1,919	1,719	△ 199
有価証券	287,295	291,834	+ 4,539
貸付金	34,230	33,515	△ 715
有形固定資産	12,196	12,197	+ 2
負債の部合計	327,899	329,386	+ 1,486
保険契約準備金	288,910	287,677	△ 1,233
責任準備金	282,777	281,823	△ 954
危険準備金	5,579	5,539	△ 40
社債	5,768	5,768	-
その他負債	25,680	27,501	1,821
退職給付引当金	3,252	3,089	△ 162
価格変動準備金	2,885	2,945	+ 60
繰延税金負債	571	1,687	1,116
純資産の部合計	23,468	25,184	1,715
株主資本合計	5,812	4,846	△ 966
評価・換算差額等合計	17,656	20,338	2,682
その他有価証券評価差額金	18,426	21,258	2,832
土地再評価差額金	490	518	28

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減
経常収益	22,905	15,646	△ 7,260
保険料等収入	16,937	14,121	△ 2,816
資産運用収益	1,301	1,457	+ 156
為替差益	-	24	+ 24
その他経常収益	4,667	68	△ 4,599
経常費用	22,633	15,457	△ 7,176
保険金等支払金	19,263	12,297	△ 6,965
責任準備金等繰入額	16	2,609	+ 2,593
危険準備金繰入額	△1	88	+ 89
資産運用費用	2,756	32	△ 2,724
為替差損	2,248	-	△ 2,248
事業費	494	420	△ 74
その他経常費用	105	99	△ 6
経常利益(△は損失)	272	188	△ 84
特別利益	-	-	-
特別損失	28	31	+ 3
法人税等合計	69	46	△ 23
中間純利益(△は損失)	176	112	△ 64

貸借対照表

(億円)	25/3末	25/9末	増減
資産の部合計	88,239	92,814	+ 4,575
現預金・コール	5,399	5,437	+ 38
有価証券	70,811	73,232	+ 2,421
負債の部合計	85,659	89,970	+ 4,310
保険契約準備金	79,851	82,393	+ 2,541
責任準備金	79,364	81,973	+ 2,609
(MVA残高)	11	43	+ 32
危険準備金	1,201	1,289	+ 88
純資産の部合計	2,580	2,845	+ 264
株主資本合計	2,901	3,013	+ 112
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	1,051	1,163	+ 112
その他有価証券評価差額金	△321	△168	+ 153

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクティブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(百万米ドル)	24/12期 2Q累計	25/12期 2Q累計	増減
経常収益	6,789	6,535	△ 254
保険料等収入	2,891	2,633	△ 258
資産運用収益	2,895	2,943	+ 48
その他経常収益	1,003	959	△ 44
経常費用	6,542	6,319	△ 223
保険金等支払金	2,980	3,117	+ 137
責任準備金等繰入額	2,558	1,961	△ 597
資産運用費用	178	347	+ 169
事業費	664	704	+ 40
その他経常費用	163	191	+ 27
経常利益(△は損失)	247	216	△ 30
特別利益	2	-	△ 2
特別損失	0	1	+ 0
法人税等合計	47	35	△ 12
中間純利益(△は損失)	201	181	△ 21

貸借対照表

(百万米ドル)	24/12末	25/6末	増減
資産の部合計	124,479	134,082	+ 9,604
現預金	640	1,443	+ 803
有価証券	80,795	83,139	+ 2,345
貸付金	14,062	14,218	+ 156
有形固定資産	206	199	△ 7
無形固定資産	4,155	2,758	△ 1,397
のれん	1,197	1,187	△ 10
その他の無形固定資産	2,916	1,506	△ 1,410
再保険貸	12,662	12,761	+ 98
負債の部合計	120,734	130,058	+ 9,324
保険契約準備金	112,678	115,405	+ 2,727
再保険借	487	6,330	+ 5,843
短期社債	265	389	+ 124
社債	1,637	1,635	△ 1
その他負債	5,619	6,253	+ 634
純資産の部合計	3,744	4,024	+ 280
株主資本合計	8,522	8,522	△ 1
その他の包括利益累計額合計	△4,778	△4,498	+ 280

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

損益計算書

(百万豪ドル)	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減
経常収益	4,385	4,402	+ 17
保険料等収入	4,064	3,985	△ 80
保険料	3,199	3,195	△ 4
再保険収入	865	790	△ 75
資産運用収益	313	396	+ 84
その他経常収益	8	21	+ 13
経常費用	4,059	4,047	△ 12
保険金等支払金	3,223	3,126	△ 97
保険金	2,315	2,474	+ 159
再保険料	908	652	△ 256
責任準備金等繰入額	71	193	+ 122
資産運用費用	28	25	△ 3
事業費	730	695	△ 35
その他経常費用	6	8	+ 1
経常利益(△は損失)	326	355	+ 29
特別損益(△は損失)	-	-	-
法人税等合計	98	104	+ 6
中間純利益(△は損失)	228	251	+ 23
基礎的収益力	236	214	△ 22

貸借対照表

(百万豪ドル)	25/3末	25/9末	増減
資産の部合計	18,429	18,693	+ 264
現預金	1,629	739	△ 890
買現先勘定	-	-	-
有価証券	9,895	11,198	+ 1,303
有形固定資産	159	153	△ 6
無形固定資産	786	786	-
のれん	786	786	-
その他資産	4,803	4,765	△ 38
繰延税金資産	1,157	1,052	△ 106
負債の部合計	15,989	16,003	+ 14
保険契約準備金	13,829	13,929	+ 100
その他負債	2,160	2,073	△ 87
純資産の部合計	2,440	2,691	+ 251
株主資本合計	2,440	2,691	+ 251
資本金	3,056	3,056	-
利益剰余金	△ 615	△ 365	+ 251

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(十億越ドン)	24/12期 2Q累計	25/12期 2Q累計	増減
経常収益	11,122	10,931	△ 191
保険料等収入	9,379	9,205	△ 174
資産運用収益	1,742	1,726	△ 16
その他経常収益	1	1	△ 0
経常費用	9,757	9,673	△ 84
保険金等支払金	2,644	2,873	+ 229
責任準備金等繰入額	3,684	3,890	+ 206
事業費	3,375	2,854	△ 521
その他経常費用	53	56	+ 3
経常利益(△は損失)	1,365	1,258	△ 107
特別利益	2	5	+ 3
特別損失	3	5	+ 2
法人税等合計	270	301	+ 31
中間純利益(△は損失)⁽²⁾	1,095	958	△ 137

貸借対照表

(十億越ドン)	24/12末	25/6末	増減
資産の部合計	75,203	79,743	+ 4,539
現預金	15,668	18,719	+ 3,051
有価証券	47,914	49,742	+ 1,828
貸付金	2,023	2,171	+ 149
有形固定資産	152	127	△ 25
無形固定資産	51	42	△ 9
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	53,792	57,914	+ 4,122
保険契約準備金	51,586	55,476	+ 3,890
再保険借	70	43	△ 27
その他負債	2,133	2,391	+ 259
純資産の部合計	21,411	21,829	+ 418
株主資本合計	21,411	21,829	+ 418

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

(2) DLVNの2Q決算において税務上の取扱いを変更し、一部損金を不算入としたことに伴い、HD連結財務諸表を修正した結果、DLVN単体の財務諸表との間に一部差異が生じた

主要子会社別損益計算書(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテktiv			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減	24/12期 2Q累計	25/12期 2Q累計	増減	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減	24/12期 2Q累計	25/12期 2Q累計 ⁽¹⁾	増減	25/3期 2Q累計	26/3期 2Q累計	増減
経常収益	20,457	20,730	+ 274	22,905	15,646	△ 7,260	730	798	+ 68	10,935	9,463	△ 1,471	4,329	4,309	△ 20	703	606	△ 97	51,912	51,196	△ 716
保険料等収入	10,745	11,375	+ 629	16,937	14,121	△ 2,816	694	735	+ 41	4,657	3,813	△ 844	4,013	3,900	△ 112	593	511	△ 82	35,966	33,311	△ 2,656
資産運用収益	7,255	7,298	+ 43	1,301	1,457	+ 156	5	7	+ 2	4,662	4,262	△ 401	309	388	+ 79	110	96	△ 14	13,408	14,771	+ 1,362
利息・配当金等収入	3,851	3,839	△ 12	976	1,016	+ 41	5	7	+ 2	2,939	2,811	△ 128	14	14	+ 0	86	93	+ 7	7,876	7,734	△ 143
有価証券売却益	3,132	2,639	△ 493	3	5	+ 3	-	-	-	3	53	+ 50	-	-	-	-	-	-	3,138	2,697	△ 441
金融派生商品収益	-	-	-	323	114	△ 209	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	259	-	△ 259
為替差益	-	-	-	-	24	+ 24	-	-	-	0	0	+ 0	-	-	-	0	0	△ 0	-	9	+ 9
特別勘定資産運用益	130	715	+ 586	-	67	+ 67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	129	782	+ 653
その他経常収益	2,456	2,058	△ 398	4,667	68	△ 4,599	32	56	+ 24	1,616	1,389	△ 227	8	21	+ 13	0	0	△ 0	2,538	3,115	+ 577
経常費用	17,887	17,990	+ 103	22,633	15,457	△ 7,176	748	831	+ 83	10,537	9,150	△ 1,387	4,007	3,962	△ 46	617	536	△ 80	48,191	47,762	△ 429
保険金等支払金	11,552	12,421	+ 869	19,263	12,297	△ 6,965	535	518	△ 17	4,800	4,514	△ 286	3,182	3,060	△ 122	167	159	△ 8	34,246	29,540	△ 4,707
責任準備金等繰入額	42	43	+ 1	16	2,609	+ 2,593	15	96	+ 81	4,119	2,839	△ 1,280	70	189	+ 118	233	216	△ 17	1,233	8,735	+ 7,502
資産運用費用	3,080	2,276	△ 805	2,756	32	△ 2,724	0	0	+ 0	286	502	+ 216	28	25	△ 3	-	-	-	6,101	2,791	△ 3,310
有価証券売却損	2,125	1,174	△ 951	400	21	△ 379	-	-	-	1	254	+ 253	-	-	-	-	-	-	2,526	1,449	△ 1,077
有価証券評価損	36	64	+ 28	-	-	-	-	-	-	25	11	△ 14	-	-	-	-	-	-	60	75	+ 15
金融派生商品費用	8	337	+ 329	-	-	-	-	-	-	55	82	+ 27	-	-	-	-	-	-	-	355	+ 355
為替差損	398	14	△ 383	2,248	-	△ 2,248	-	-	-	-	-	-	-	0	+ 0	-	-	-	2,633	-	△ 2,633
特別勘定資産運用損	-	-	-	1	-	△ 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業費	2,039	2,070	+ 31	494	420	△ 74	178	194	+ 17	1,070	1,019	△ 51	720	680	△ 40	213	158	△ 55	4,963	4,949	△ 14
経常利益(△は損失)	2,569	2,740	+ 171	272	188	△ 84	△18	△32	△ 15	397	313	△ 84	322	347	+ 25	86	70	△ 17	3,721	3,434	△ 287
特別利益	15	29	+ 14	-	-	-	-	-	-	3	-	△ 3	-	-	-	0	0	+ 0	18	118	+ 99
特別損失	115	94	△ 22	28	31	+ 3	0	0	+ 0	0	1	+ 1	-	-	-	0	0	+ 0	152	126	△ 26
契約者配当準備金繰入額	425	476	+ 51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	425	476	+ 51
税金等調整前中間純利益	2,044	2,199	+ 156	245	157	△ 87	△18	△32	△ 15	400	312	△ 88	322	347	+ 25	86	70	△ 16	3,162	2,949	△ 213
法人税等合計	565	614	+ 49	69	46	△ 23	△5	△8	△ 4	76	50	△ 26	97	102	+ 5	17	17	△ 0	830	853	+ 23
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中間純利益(△は損失)	1,479	1,586	+ 107	176	112	△ 64	△13	△24	△ 11	324	262	△ 63	225	245	+ 20	69	53	△ 16	2,332	2,096	△ 236

(1)DLVNの2Q決算において税務上の取扱いを変更し、一部損金を不算入としたことに伴い、HD連結財務諸表を修正した結果、DLVN単体の財務諸表との間に一部差異が生じた

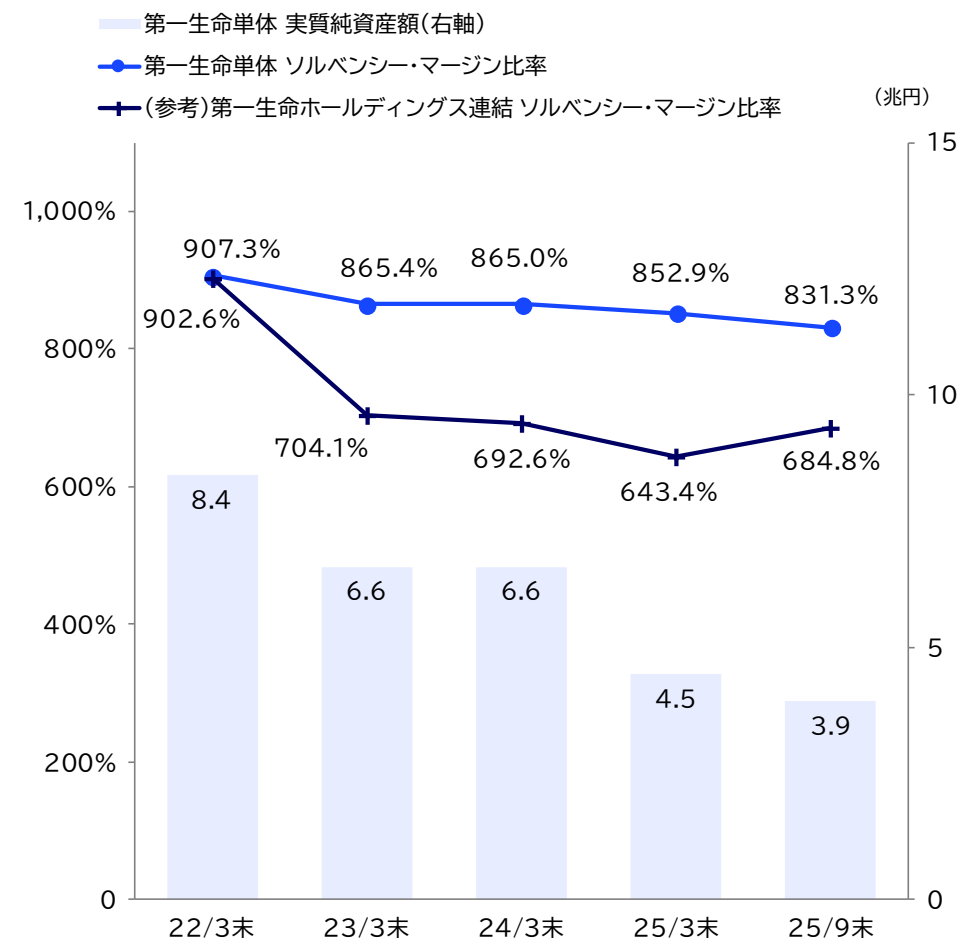
主要子会社別貸借対照表(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトティブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	25/3末	25/9末	増減	25/3末	25/9末	増減	25/3末	25/9末	増減	24/12末	25/6末	増減	25/3末	25/9末	増減	24/12末	25/6末	増減	25/3末	25/9末	増減
資産の部合計	351,368	354,569	+ 3,201	88,239	92,814	+ 4,575	3,496	3,516	+ 21	196,900	194,164	△ 2,736	17,318	18,299	+ 981	4,667	4,423	△ 245	695,930	703,444	+ 7,514
現預金・コール	7,734	8,002	+ 268	5,399	5,437	+ 38	904	780	△ 124	1,012	2,090	+ 1,078	1,530	723	△ 807	972	1,038	+ 66	24,557	24,709	+ 152
買入金銭債権	1,919	1,719	△ 199	153	137	△ 17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,072	1,856	△ 216
有価証券	287,295	291,834	+ 4,539	70,811	73,232	+ 2,421	1,878	1,969	+ 91	127,801	120,394	△ 7,407	9,299	10,962	+ 1,663	2,974	2,759	△ 215	530,339	533,513	+ 3,174
貸付金	34,230	33,515	△ 715	-	-	-	18	17	△ 1	22,243	20,589	△ 1,654	-	-	-	126	120	△ 5	51,309	48,934	△ 2,375
有形固定資産	12,196	12,197	+ 2	9	9	△ 1	3	3	△ 0	325	288	△ 37	149	150	+ 1	9	7	△ 2	12,732	12,693	△ 39
無形固定資産	1,197	1,184	△ 13	165	167	+ 2	112	116	+ 4	6,573	3,994	△ 2,579	739	770	+ 31	3	2	△ 1	11,073	8,377	△ 2,696
繰延税金資産	-	-	-	592	570	△ 22	22	23	+ 1	605	455	△ 150	1,087	1,029	△ 58	5	3	△ 1	1,710	1,492	△ 218
負債の部合計	327,899	329,386	+ 1,486	85,659	89,970	+ 4,310	3,201	3,246	+ 45	190,977	188,337	△ 2,640	15,025	15,665	+ 640	3,338	3,212	△ 126	661,233	664,830	+ 3,597
保険契約準備金	288,910	287,677	△ 1,233	79,851	82,393	+ 2,541	3,103	3,148	+ 45	178,234	167,118	△ 11,117	12,995	13,635	+ 640	3,201	3,077	△ 125	595,662	586,476	△ 9,186
責任準備金	282,777	281,823	△ 954	79,364	81,973	+ 2,609	2,829	2,925	+ 96	176,785	165,772	△ 11,013	3,084	3,166	+ 82	3,119	3,000	△ 119	577,019	567,828	△ 9,191
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	419	564	+ 145	-	-	-	-	-	-	419	564	+ 145
社債	5,768	5,768	-	-	-	-	-	-	-	2,589	2,368	△ 221	-	-	-	-	-	-	11,531	11,314	△ 217
その他負債	25,680	27,501	+ 1,821	2,943	4,031	+ 1,088	60	62	+ 1	8,888	9,055	+ 167	2,030	2,030	△ 0	132	133	+ 0	43,795	46,688	+ 2,893
退職給付に係る負債	3,252	3,089	△ 162	-	-	-	-	-	-	77	66	△ 11	-	-	-	0	0	△ 0	1,579	1,554	△ 25
価格変動準備金	2,885	2,945	+ 60	537	568	+ 31	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,422	3,513	+ 91
繰延税金負債	571	1,687	+ 1,116	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	977	2,090	+ 1,113
純資産の部合計	23,468	25,184	+ 1,715	2,580	2,845	+ 264	295	271	△ 24	5,923	5,827	△ 95	2,293	2,634	+ 341	1,329	1,211	△ 118	34,697	38,614	+ 3,916
株主資本合計	5,812	4,846	△ 966	2,901	3,013	+ 112	295	272	△ 24	10,210	10,198	△ 11	1,926	2,171	+ 245	1,129	1,152	+ 23	20,146	21,634	+ 1,487
その他の包括利益累計額合計	17,656	20,338	+ 2,682	△321	△168	+ 153	△1	△1	△ 0	△4,287	△4,371	△ 84	367	463	+ 96	200	58	△ 141	14,548	16,978	+ 2,430
その他有価証券評価差額金	18,426	21,258	+ 2,832	△321	△168	+ 153	△1	△1	△ 0	△7,569	△6,502	+ 1,067	-	-	-	-	-	-	10,545	14,551	+ 4,006
土地再評価差額金	490	518	+ 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	490	518	+ 28

第一生命グループー連結ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

(億円)	25/3末	25/9末	増減	
ソルベンシー・マージン総額(A)	63,628	73,195	+ 9,566	
資本金等 ⁽¹⁾	9,965	13,914	+ 3,949	
価格変動準備金	3,422	3,513	+ 91	
危険準備金	6,799	6,848	+ 48	
異常危険準備金	73	72	△ 2	
一般貸倒引当金	20	11	△ 9	
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	13,418	18,285	+ 4,867	
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	4,542	4,522	△ 19	
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	1,782	1,636	△ 145	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,563	23,587	+ 24	
負債性資本調達手段等	11,318	11,318	-	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△7,265	△5,772	+ 1,493	
少額短期保険業者に係るマージン総額	0	0	+ 0	
控除項目	△4,683	△5,920	△ 1,237	
その他	675	1,181	+ 506	
リスクの合計額(B) $\sqrt{[(R_1^2+R_5^2)+R_8+R_9]^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4+R_6$	19,777	21,376	+ 1,598	
保険リスク相当額	R ₁	1,713	1,655	△ 58
一般保険リスク相当額	R ₅	278	267	△ 11
巨大災害リスク相当額	R ₆	21	19	△ 2
第三分野保険の保険リスク相当額	R ₈	1,792	1,832	+ 40
少額短期保険業者の保険リスク相当額	R ₉	0	0	+ 0
予定利率リスク相当額	R ₂	2,091	2,109	+ 18
最低保証リスク相当額	R ₇ ⁽²⁾	888	820	△ 68
資産運用リスク相当額	R ₃	15,996	17,643	+ 1,647
経営管理リスク相当額	R ₄	456	487	+ 31
ソルベンシー・マージン比率 (A)／{(1/2)×(B)}	643.4%	684.8%	+41.4%pt	



(1) 社外流出予定額およびその他の包括利益累計額等を除く

(2) 標準的方法を用いて算出



SCORE 73/100 (2024年度)
アジアパシフィックインデックス構成銘柄



格付 AA (2024年度)



格付 A- (2024年度)
FTSE4Good Index Series構成銘柄



ESG Risk Rating
Medium Risk(2025年3月末)



3.6/5 (2024年度)
FTSE4Good Index Series構成銘柄

当社主催イベント

	イベント	主な登壇者	
2025年11月27日	決算経営説明会	代表取締役グループCEO 執行役員グループCFO	菊田 徹也 西村 泰介
2026年1月20日	事業戦略説明会 (国内保障事業、資産形成・承継事業)	国内保障事業オーナー 資産形成承継事業オーナー	甲斐 講平 飯田 貴史
2026年2月13日	2026年3月期 第3四半期決算電話会議	執行役員グループCFO	西村 泰介

その他イベント

	イベント	主な登壇者	
2025年12月	IRカンファレンス(野村証券)	執行役員グループCFO	西村 泰介
2026年2月	IRカンファレンス(SMBC日興証券)	代表取締役グループCEO	菊田 徹也
2026年3月	IRカンファレンス(大和証券)	執行役員グループCFO	西村 泰介

本資料の問い合わせ先
第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。